

地方創生に関するアンケート調査
結果報告書

平成27年12月

光 市

目 次

I 市民向けアンケート 1

1 アンケート調査の概要 1

- (1) 調査目的 1
- (2) 調査対象 1
- (3) 調査方法 1
- (4) 調査期間 1
- (5) 配付回収状況 1
- (6) 調査項目 1

2 アンケート調査の結果 2

- (1) あなた（回答者）ご自身について 2
 - ① 性別 2
 - ② 年齢 2
- (2) 結婚について 3
 - ① 結婚の有無 3
 - ② 現在結婚していない理由 3
 - ③ 今後の結婚に関する希望 4
 - ④ 結婚後も光市に住み続けたいと思うかについて 4
 - ⑤ 市が重点的に取り組むべき結婚支援事業について 5
- (3) 出産・育児について 6
 - ① 現在のお子さんの人数 6
 - ② 最終的にもうける予定のお子さんの人数 6
 - ③ 理想のお子さんの人数 6
 - ④ 理想のお子さんの人数を実現するために課題となること 7
 - ⑤ 市が最も力を入れるべき子育てに関する取組み 7
- (4) 住みやすさについて 8
 - ① 通勤・通学等で要する時間 8
 - ② 通勤・通学等で要する時間として許容できる時間 8
 - ③ 将来的に光市外へ引っ越す予定について 8
 - ④ 引っ越す理由について 9
 - ⑤ 住む場所を検討する際に重視する点 9
 - ⑥ 光市が住みやすいと感じる点 10
 - ⑦ 住む場所の決定や住宅購入の際にきっかけになり得る行政サービス 10

(5)	働くことについて	11
①	就労の有無	11
②	現在の就業形態	11
③	現在働いている環境で満足している点	12
④	現在働いている環境で改善してほしい点	12
⑤	現在働いている場所	13
⑥	現在働いている市町村	13
⑦	働いている場所と異なる光市にお住まいの理由	14
⑧	現在働いていない人の状況	14
⑨	今後働くことになった際に、希望する仕事の分野	15
⑩	今後の就職・転職希望の有無	15
⑪	将来的に仕事を選択する上で重視すること	16
⑫	よりよい労働市場を形成するために必要な行政サービス	16
(6)	人口減少社会におけるまちづくりについて	17
①	ちょうどよいと思う光市の人口	17
②	人口減少に歯止めをかけるための施策について（自由記述）	17

II 転出者向けアンケート

26

1	アンケート調査の概要	26
(1)	調査目的	26
(2)	調査対象	26
(3)	調査方法	26
(4)	調査期間	26
(5)	配付回収状況	26
(6)	調査項目	26
2	アンケート調査の結果	27
(1)	あなた（回答者）ご自身について	27
①	性別	27
②	年齢	27
③	職業	28
④	居住地	28
(2)	現在お住まいの場所について	29
①	現在お住まいの場所の住みやすさ	29

②	現在お住まいの場所が住みやすいと感じられる点	29
③	現在お住まいの場所を決定した際に重視した点	30
④	転出される際に参考にした行政サービス	30
(3)	光市について	31
①	転出された理由	31
②	光市に住んでいた期間	31
③	光市内でもお住まいを探されたかどうかについて	32
④	光市の住みやすさについて	32
⑤	光市が住みやすいと感じられた点	33
⑥	光市が住みにくいと感じられた点	33
⑦	また光市に住みたいと思うかについて	34
⑧	「住みたい」又は「住みたくない」理由（自由記述）	34
⑨	人口減少に歯止めをかけるための施策について（自由記述）	36

参考資料

40

●	アンケート調査表（市民向け）	40
●	アンケート調査表（転出者向け）	52

I 市民向けアンケート

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的

結婚・出産・子育て、仕事、住まいなどについての市民意識を把握し、光市人口ビジョン及び光市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するための基礎資料とするとともに、本市における今後の取組みの参考とします。

(2) 調査対象

18歳から49歳までの市民1,500人

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(4) 調査期間

平成27年6月5日から19日までの15日間

(5) 配付回収状況

配付数	有効配付数：A	回収数：B	回収率：B/A
1,500	1,498	492	32.8%

(6) 調査項目

- ・あなた（回答者）ご自身について
- ・結婚について
- ・出産・子育てについて
- ・住みやすさについて
- ・働くことについて
- ・人口減少社会におけるまちづくりについて

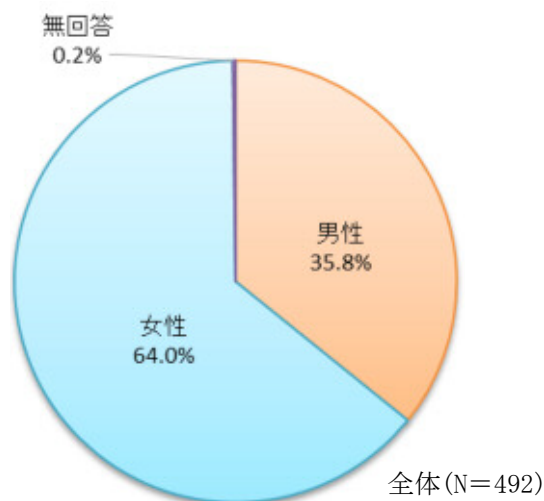
※本集計結果については端数処理の関係で、比率の数値の合計が100%にならない場合があります。

2 アンケート調査の結果

(1) あなた（回答者）ご自身について

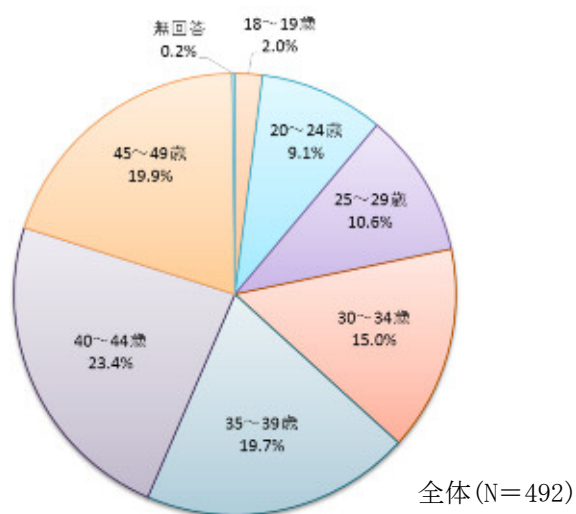
① 性別 問1

男性が35.8%、女性が64.0%となっています。



② 年齢 問2

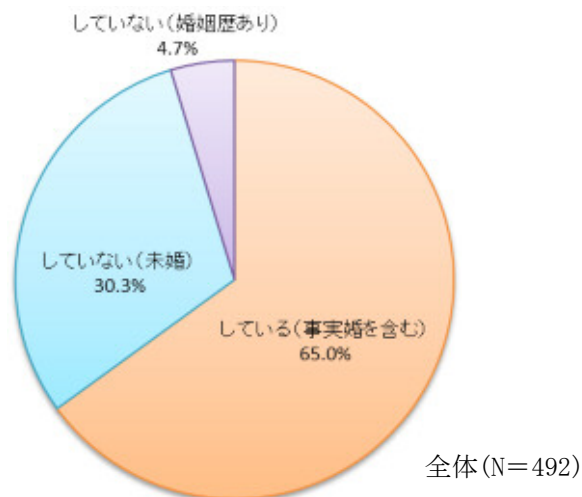
10歳代が2.0%、20歳代が19.7%、30歳代が34.7%、40歳代が43.3%となっています。



(2) 結婚について

① 結婚の有無 問3

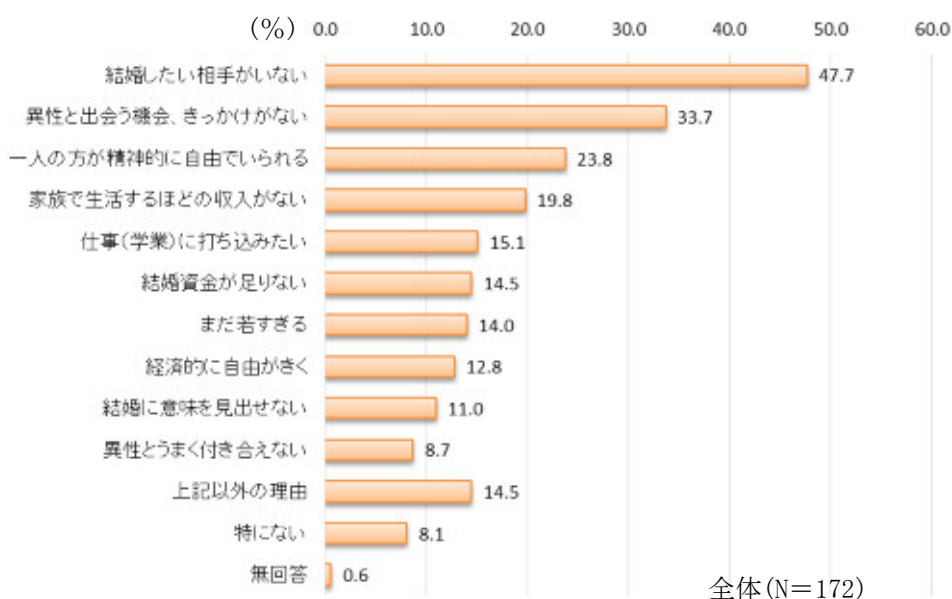
結婚しているかについては、「している(事実婚を含む)」が65.0%で全体の約3分の2を占めています。また、「していない(未婚)」は30.3%、「していない(婚姻歴あり)」は4.7%となっています。



② 現在結婚していない理由 問3-1

(問3で「していない(未婚)」、「していない(婚姻歴あり)」と答えた方のみ)

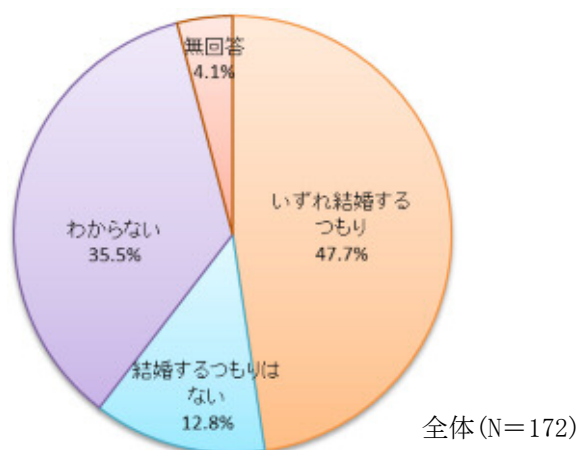
結婚していない理由については、「結婚したい相手がない」が47.7%で最も多く、次いで「異性と出会う機会、きっかけがない」が33.7%と高くなっています。



③ 今後の結婚に関する希望 **問3-2**

(**問3** で「していない(未婚)」、「していない(婚姻歴あり)」と答えた方のみ)

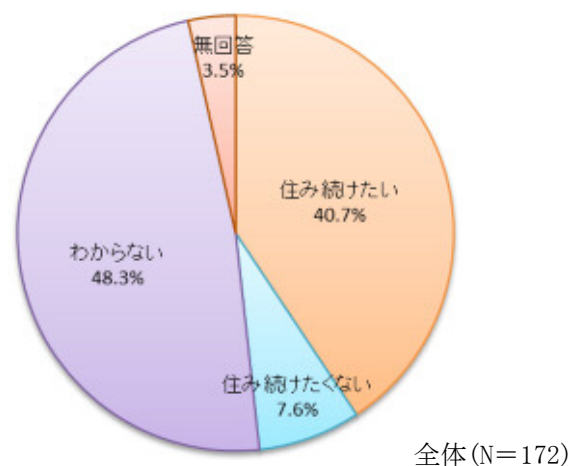
今後の結婚に関する希望については、「いずれ結婚するつもり」が47.7%で最も多く、次いで、「わからない」が35.5%、「結婚するつもりはない」が12.8%となっています。



④ 結婚後も光市に住み続けたいと思うかについて **問3-3**

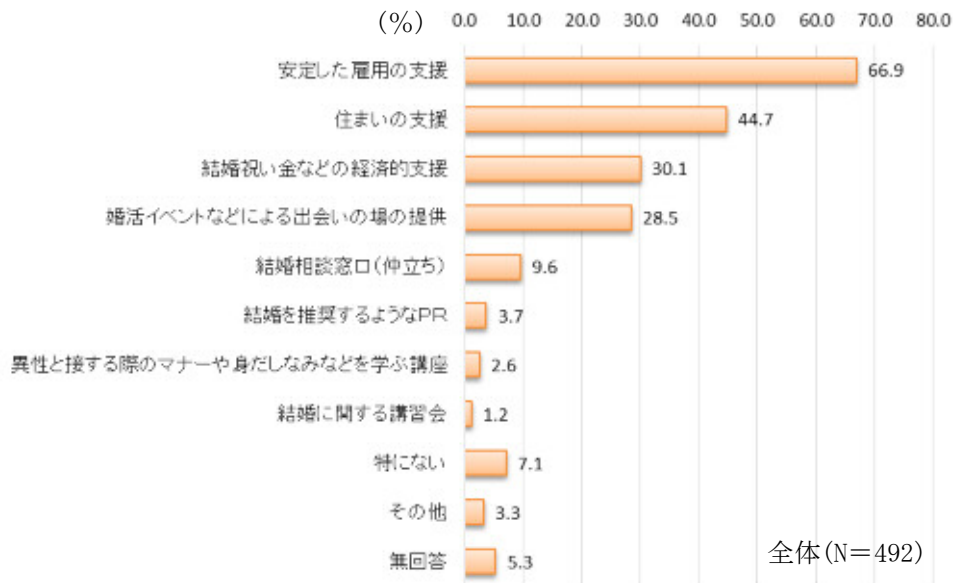
(**問3** で「していない(未婚)」、「していない(婚姻歴あり)」と答えた方のみ)

結婚後も光市に住み続けたいと思うかについては、「住み続けたい」が40.7%、「住み続けたくない」が7.6%となっており、約4割の人は結婚後も光市に住み続けたいと答えています。また、約半数(48.3%)の人が「わからない」と答えています。



⑤ 市が重点的に取り組むべき結婚支援事業について 問4

市が重点的に取り組むべき結婚支援については、「安定した雇用の支援」が66.9%で最も多く、次いで「住まいの支援」(44.7%)、「結婚祝い金などの経済的支援」(30.1%)の順となっています。



(3) 出産・育児について

① 現在のお子さんの人数 問5

現在お子さんが何人いるかについては、「2人」が31.9%、次いで「1人」(16.7%)、「3人」(9.6%)の順となっています。「0人」と答えた人は、37.0%となっています。

② 最終的にもうける予定のお子さんの人数 問6

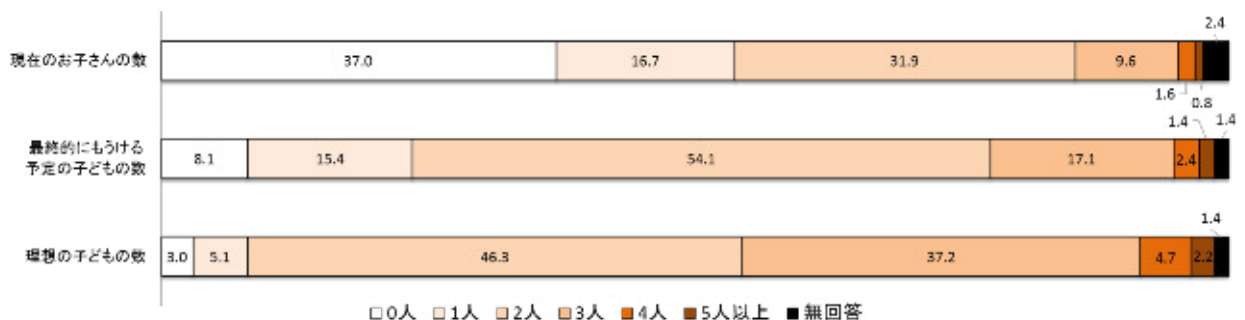
最終的にもうける予定のお子さんの人数については、「2人」が54.1%と半数以上を占めています。次いで「3人」(17.1%)、「1人」(15.4%)の順となっています。また、「0人」と答えた人は、8.1%となっています。

③ 理想のお子さんの人数 問7

理想のお子さんの人数については、「2人」が46.3%で半数近くを占めています。次いで「3人」(37.2%)、「1人」(5.1%)の順となっています。また、「0人」と答えた人は、わずか3.0%となっています。

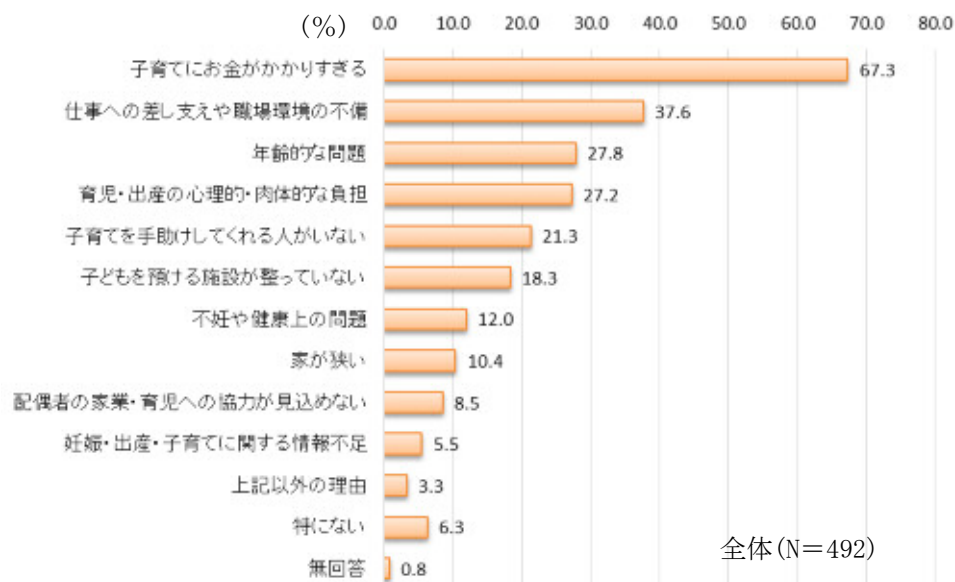
平均では、「現在」(既婚者)が1.72人、「最終(予定)」が1.94人、「理想」が2.42人となっています。

現在のお子さんの数	1.72人 ※有効回答者のうち既婚者 320 人の平均値 (全体 492 人の平均 1.23)
最終的にもうける予定のお子さんの数	1.94人 ※有効回答者 492 人全員の平均値
理想のお子さんの数	2.42人 ※有効回答者 492 人全員の平均値



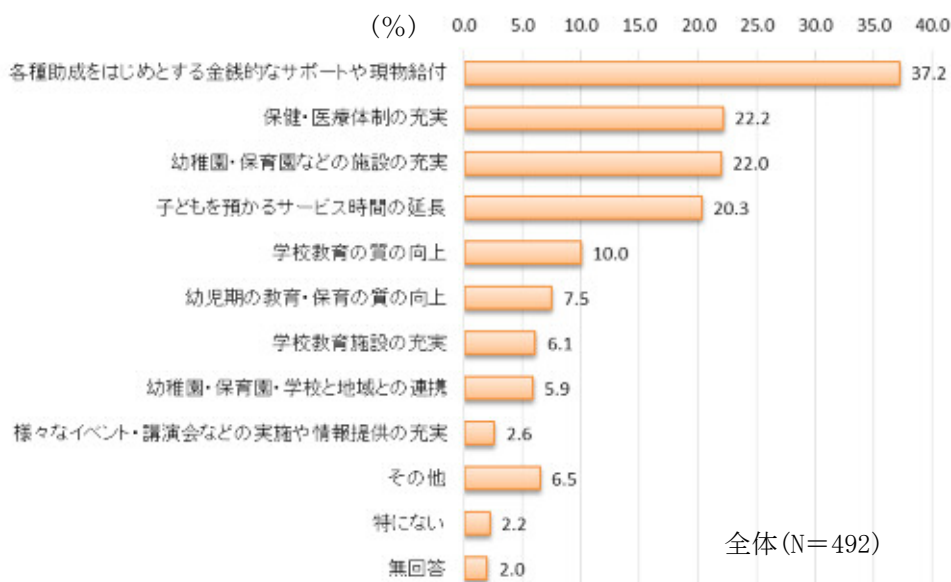
④ 理想なお子さんの人数を実現するために課題となること 問8

理想なお子さんの人数を実現するために課題となることについては、「子育てにお金がかかりすぎる」が67.3%で最も多く、次いで「仕事への差し支えや職場環境の不備」(37.6%)、「年齢的な問題」(27.8%)の順となっています。



⑤ 市が最も力を入れるべき子育てに関する取組み 問9

市が最も力を入れるべき子育て支援に関するサービスについては、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が37.2%で最も多く、次いで「保健・医療体制の充実」(22.2%)、「幼稚園・保育園などの施設の充実」(22.0%)、「子どもを預かるサービス時間の延長」(20.3%)の順となっています。



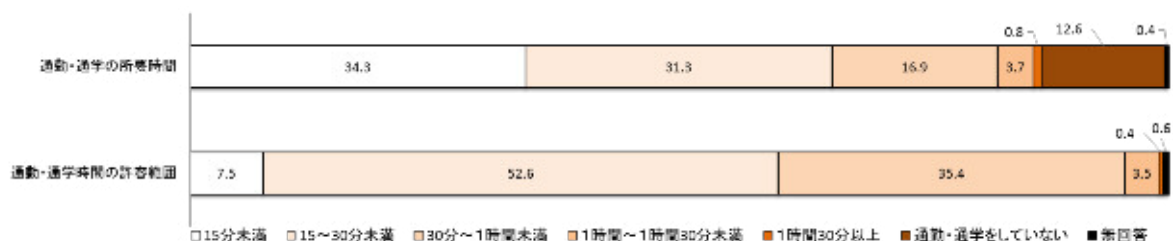
(4) 住みやすさについて

① 通勤・通学等で要する時間 問10

通勤・通学等で要する時間については、「15分未満」が34.3%で最も多く、次いで「15～30分未満」(31.3%)、「30分～1時間未満」(16.9%)の順となっています。

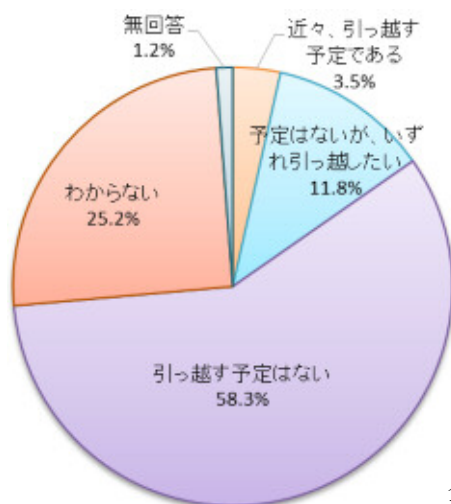
② 通勤・通学等で要する時間として許容できる時間 問11

通勤・通学等で要する時間として許容できる時間については、「15～30分未満」が52.6%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が35.4%となっています。



③ 将来的に光市外へ引っ越す予定について 問12

将来的に市外へ引っ越す予定については、「近々、引っ越す予定である」(3.5%)と「予定はないが、いずれ引っ越したい」(11.8%)を合わせた割合が15.3%となっています。一方、「引っ越す予定はない」と答えた人は58.3%となっています。

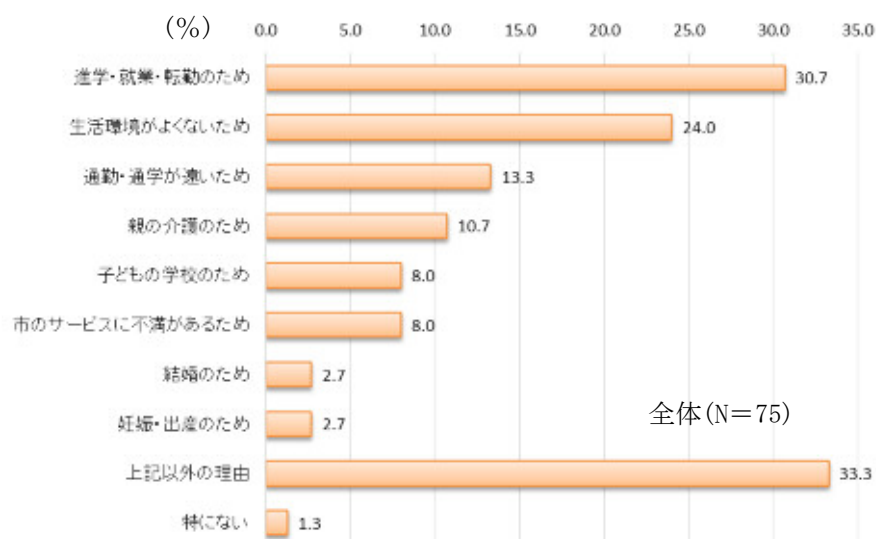


全体(N=492)

④ 引っ越す理由について 問 12-1

(問 12 で「近々、引っ越す予定である」、「予定はないが、いずれ引っ越したい」と答えた方のみ)

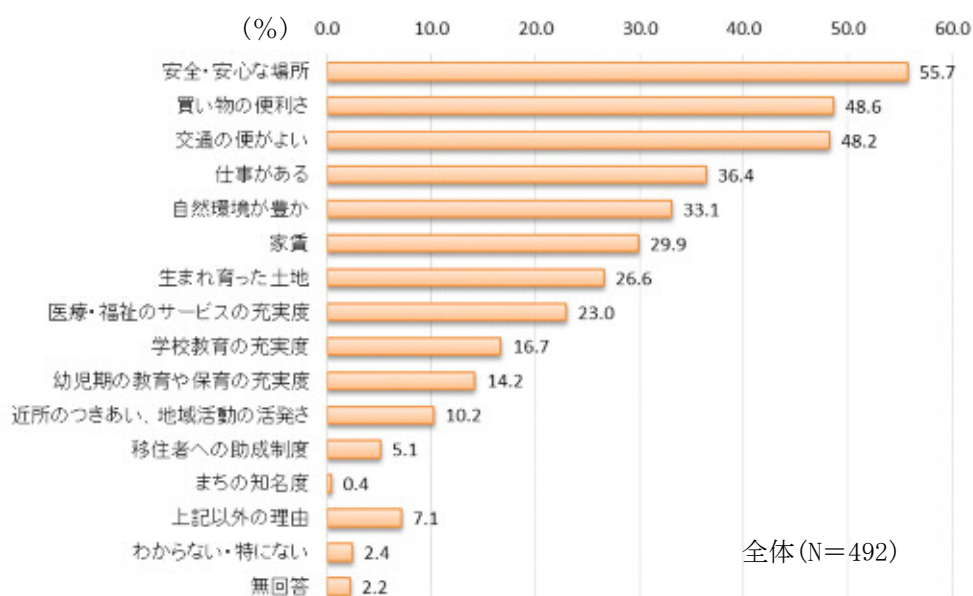
引っ越す理由については、「進学・就業・転勤のため」が30.7%で最も多く、次いで「生活環境がよくないため」(24.0%)、「通勤・通学が遠いため」(13.3%)の順となっています。



⑤ 住む場所を検討する際に重視する点 問 13

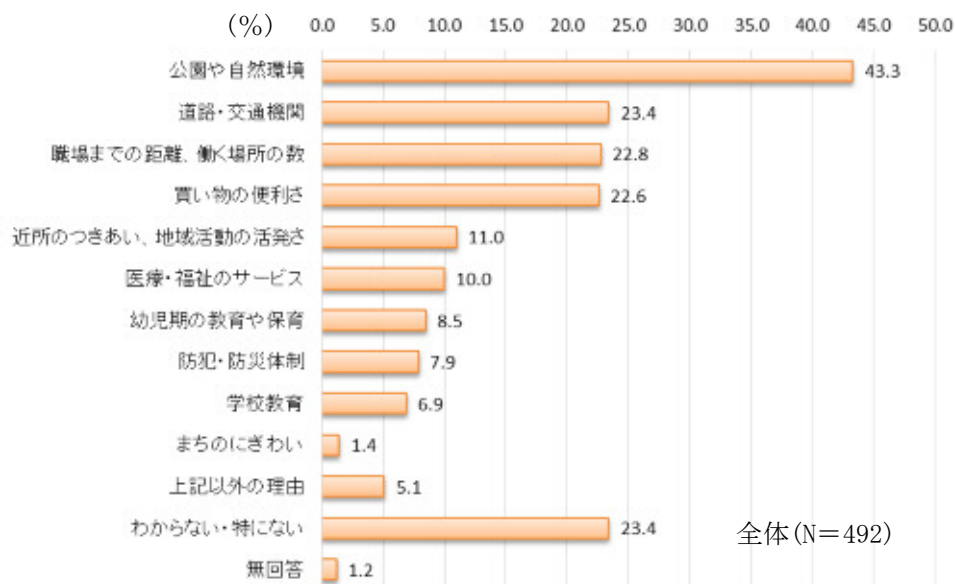
住む場所を検討する際に重視する点については、「安全・安心な場所」(55.7%)、「買物の便利さ」(48.6%)、「交通の便がよい」(48.2%)が上位3項目となっており、生活環境を重視する傾向が高くなっています。

次いで、「仕事がある」(36.4%)、「自然環境が豊か」(33.1%)、「家賃」(29.9%)、「生まれ育った土地」(26.6%)の順となっています。



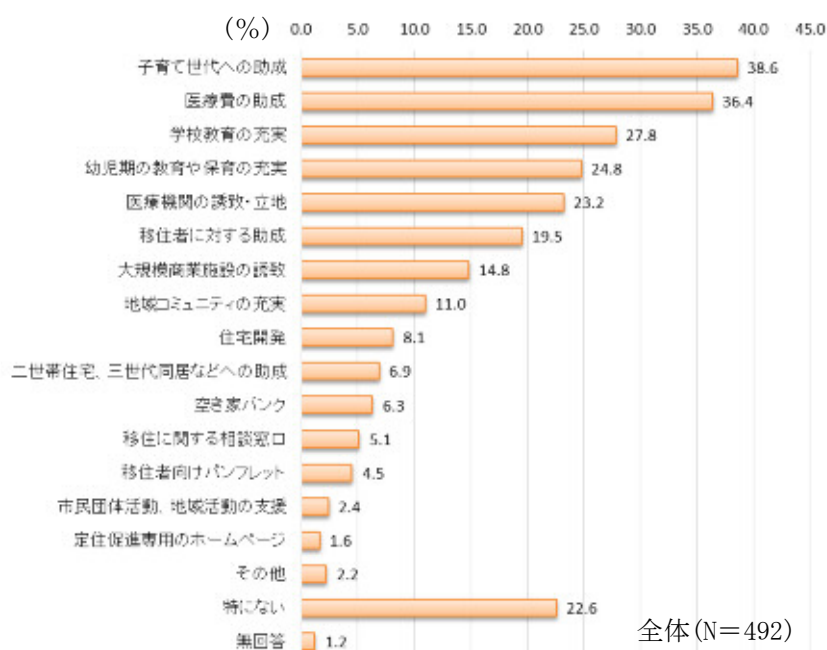
⑥ 光市が住みやすいと感じる点 問 14

光市が住みやすいと感じる点については、「公園や自然環境」が43.3%で最も多く、次いで「道路・交通機関」(23.4%)、「職場までの距離、働く場所の数」(22.8%)の順となっています。



⑦ 住む場所の決定や住宅購入の際にきっかけになり得る行政サービス 問 15

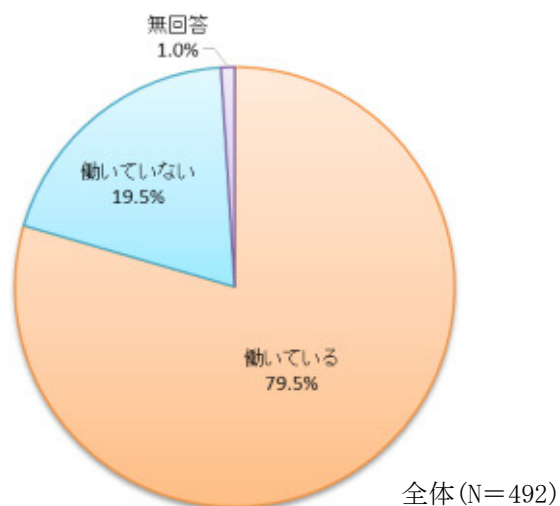
住む場所の決定や住宅購入の際に参考とし、決定のきっかけになり得る行政サービスについては、「子育て世代への助成」が38.6%で最も多くなっています。次いで「医療費の助成」(36.4%)、「学校教育の充実」(27.8%)、「幼児期の教育や保育の充実」(24.8%)の順となっており、子育てに関するサービスの希望が多くなっています。



(5) 働くことについて

① 就労の有無 問 16

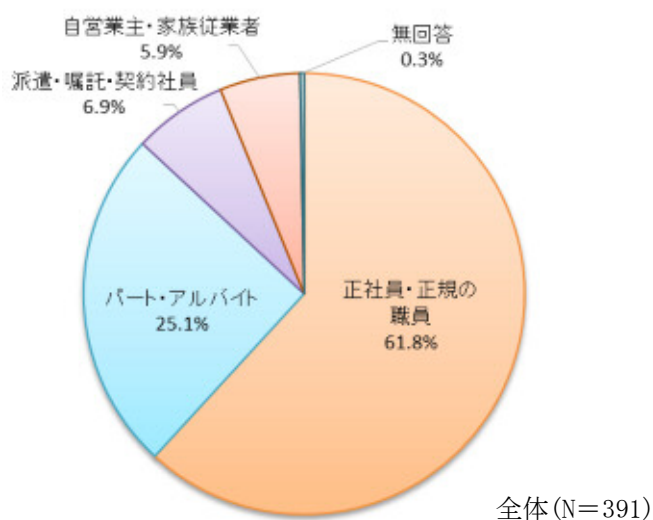
働いているかについては、「働いている」が79.5%で全体の約5分の4を占めています。一方、「働いていない」人は19.5%となっています。



② 現在の就業形態 問 16-1

(問 16 で「働いている」と答えた方のみ)

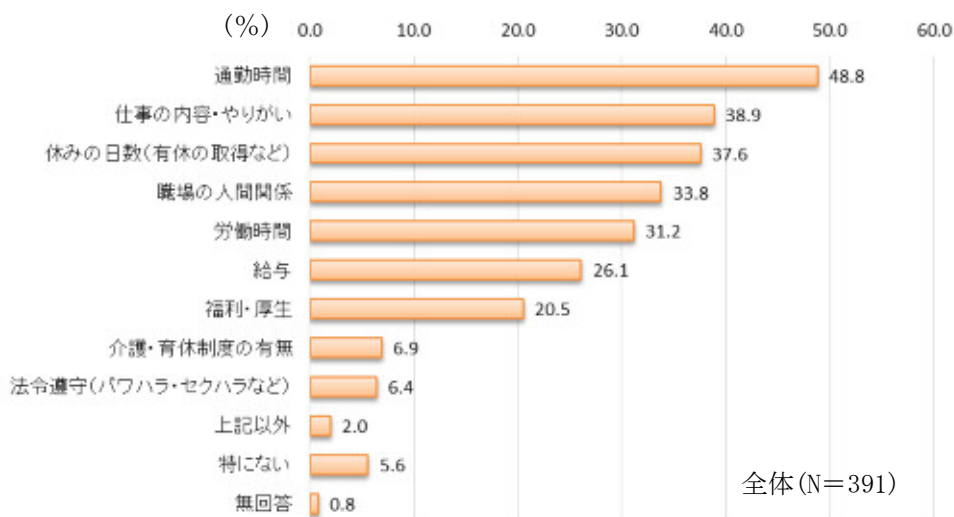
就業形態については、「正社員・正規の職員」が61.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」(25.1%)、「派遣・嘱託・契約社員」(6.9%)、「自営業主・家族従業者」(5.9%)の順となっています。



③ 現在働いている環境で満足している点 問 16-2

(問 16 で「働いている」と答えた方のみ)

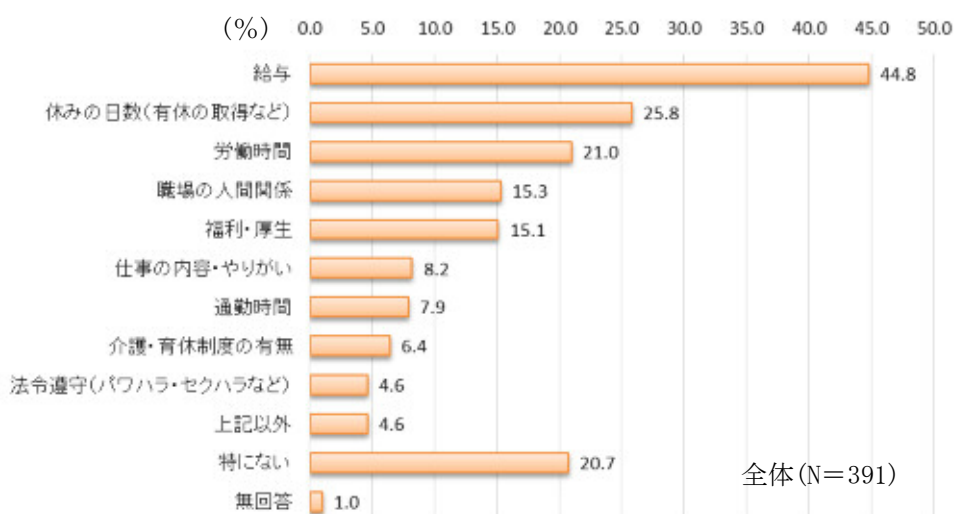
現在働いている環境で満足している点については、「通勤時間」が 48.8%で最も多く、次いで「仕事の内容・やりがい」(38.9%)、「休みの日数(有休の取得など)」(37.6%)の順となっています。



④ 現在働いている環境で改善してほしい点 問 16-3

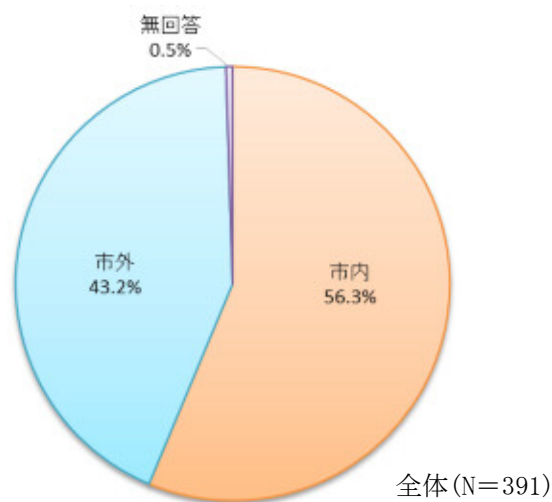
(問 16 で「働いている」と答えた方のみ)

現在働いている人の、働いている環境で改善してほしい点については、「給与」が 44.8%で最も多く、次いで「休みの日数(有休の取得など)」(25.8%)、「労働時間」(21.0%)の順となっています。



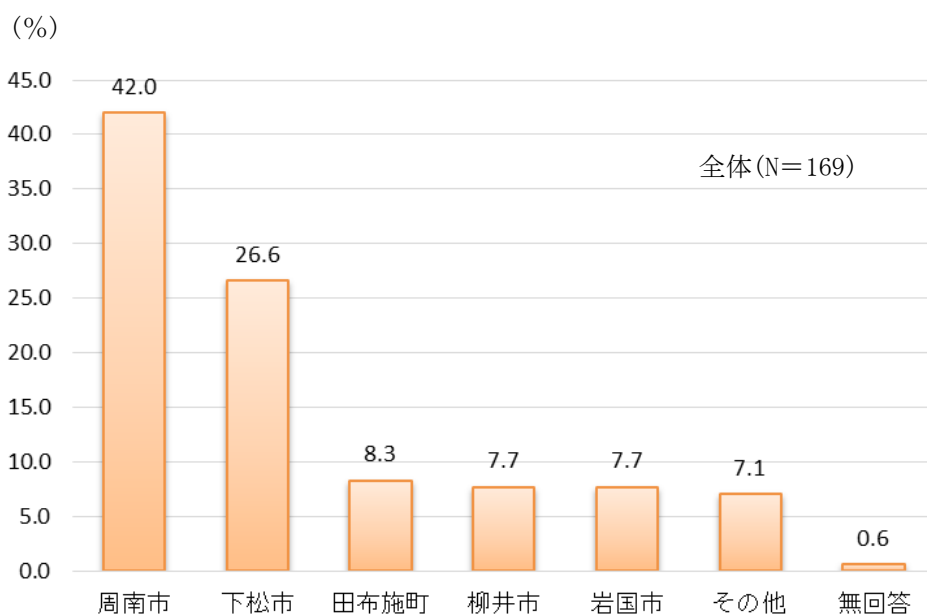
⑤ 現在働いている場所 **問 16-4**
 (**問 16** で「働いている」と答えた方のみ)

現在の就業場所については、「市内」が56.3%、「市外」が43.2%となっており、4割以上の方が市外で就業しています。



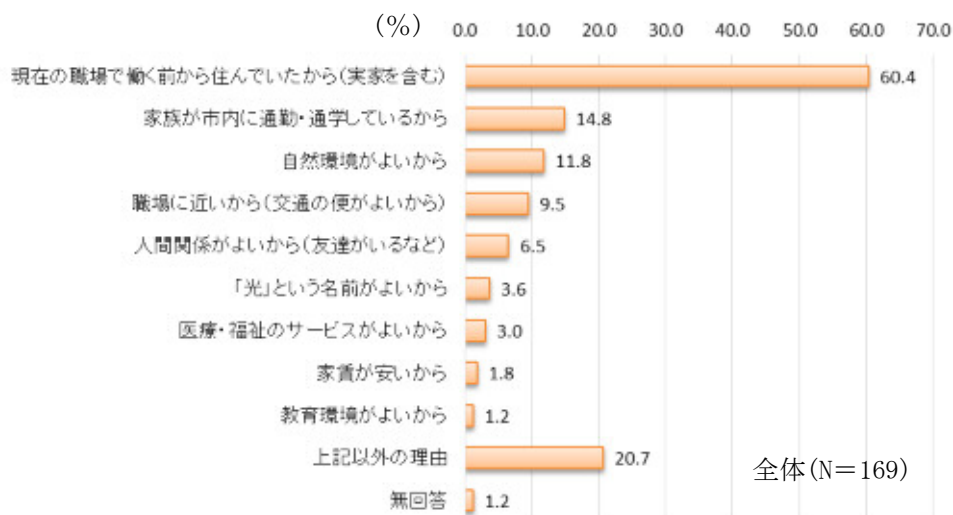
⑥ 現在働いている市町村 **問 16-5**
 (**問 16-4** で「市外」と答えた方のみ)

市外で働いている方の就業している市町村についてみると、「周南市」が42.0%と最も多く、次いで「下松市」(26.6%)、「田布施町」(8.3%)、「柳井市」(7.7%)、「岩国市」(7.7%)の順となっています。



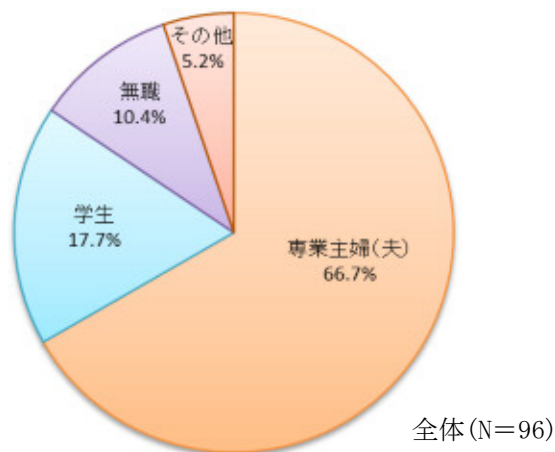
⑦ 働いている場所と異なる光市にお住まいの理由 **問 16-6**
 (**問 16-4** で「市外」と答えた方のみ)

現在働いている場所と異なる光市にお住まいの理由については、「現在の職場で働く前から住んでいたから（実家を含む）」が60.4%と全体の約6割を占めています。次いで「家族が市内に通勤・通学しているから」（14.8%）、「自然環境がよいから」（11.8%）の順となっています。



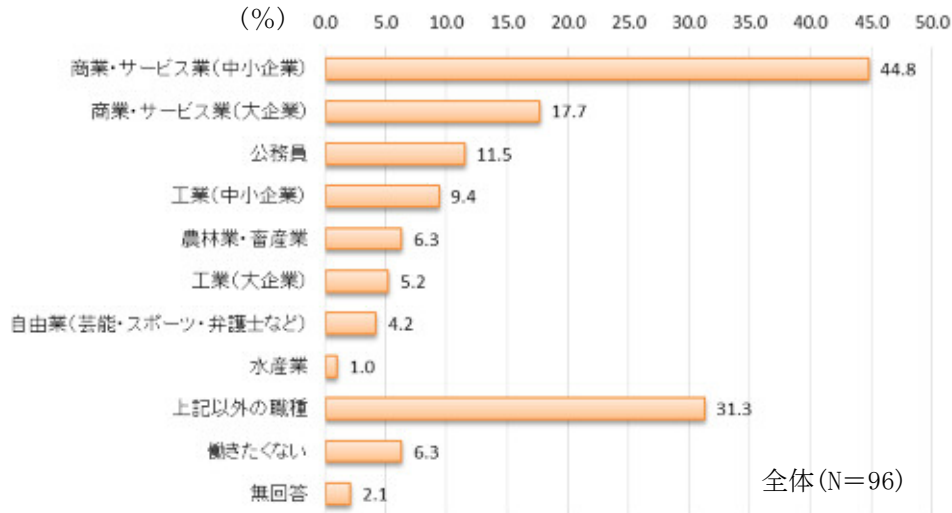
⑧ 現在働いていない人の状況 **問 16-7**
 (**問 16** で「働いていない」と答えた方のみ)

現在働いていない人の状況については、「専業主婦（夫）」が66.7%で最も多く、次いで「学生」（17.7%）、「無職」（10.4%）の順となっています。



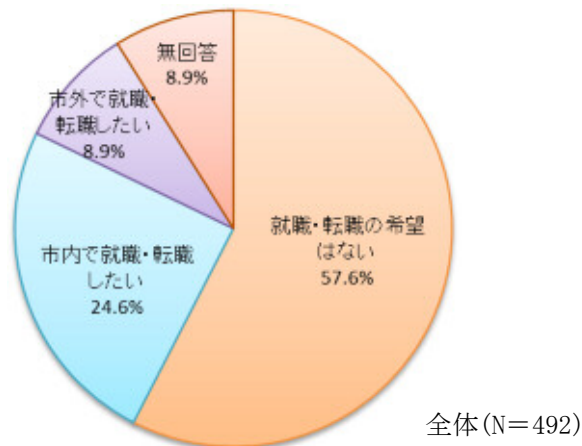
⑨ 今後働くことになった際に、希望する仕事の分野 **問 16-8**
 (問 16 で「働いていない」と答えた方のみ)

現在働いていない人が、今後働くことになった際に希望する仕事の分野については、「商業・サービス業（中小企業）」が44.8%で最も多く、次いで「商業・サービス業（大企業）」（17.7%）、「公務員」（11.5%）の順となっています。



⑩ 今後の就職・転職希望の有無 **問 17**

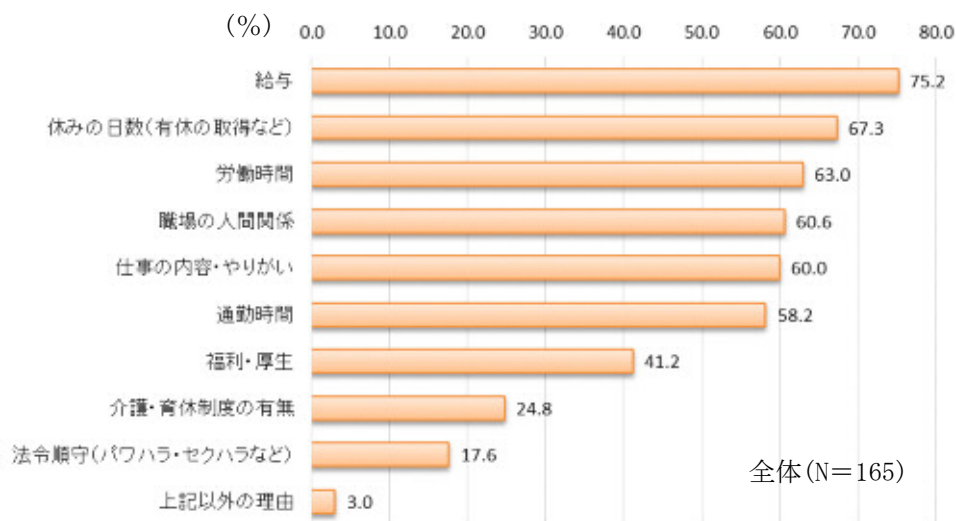
今後の就職・転職希望の有無については、「就職・転職の希望はない」が57.6%で最も多く、次いで「市内で就職・転職したい」が24.6%、「市外で就職・転職したい」が8.9%の順となっています。



⑪ 将来的に仕事を選択する上で重視すること **問 17-1**

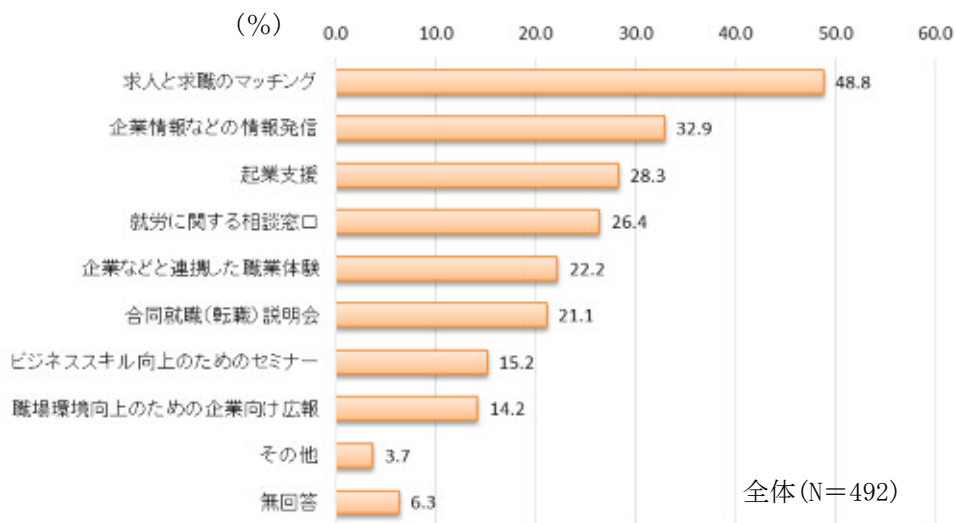
(問 17 で「市内で就職・転職したい」「市外で就職・転職したい」と答えた方のみ)

将来的に仕事を選択する上で重視することについては、「給与」が75.2%で最も多く、次いで「休みの日数(有休の取得など)」(67.3%)、「労働時間」(63.0%)、「職場の人間関係」(60.6%)の順となっています。



⑫ よりよい労働市場を形成するために必要な行政サービス **問 18**

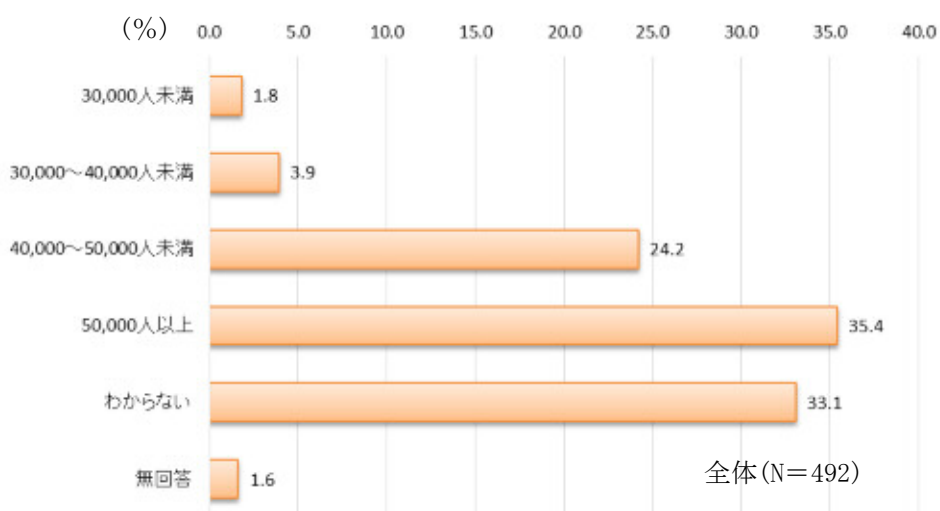
光市のよりよい労働市場を形成するために必要だと感じる行政サービスについては、「求人と求職のマッチング」が48.8%で最も多く、次いで「企業情報などの情報発信」(32.9%)、「起業支援」(28.3%)、「就労に関する相談窓口」(26.4%)の順となっています。



(6) 人口減少社会におけるまちづくりについて **問 19**

① ちょうどよいと思う光市の人口

光市の人口としてちょうどよいと思う人口については、「50,000人以上」が35.4%で最も多くなっており、「40,000人～50,000人未満」と答えた人も24.2%と多くなっています。また、「わからない」と答えた人も33.1%となっています。



② 人口減少に歯止めをかけるための施策について (自由記述)

人口減少に歯止めをかけるための施策についての提言では、319人の方から272件(重複を除く)のご意見・ご提言をいただきました。その内訳は下記のとおりです。

分野	件数
まちづくり全般に関すること	21
産業、雇用、労働環境に関すること	43
シティセールス、観光、レジャーに関すること	30
移住・定住、住まい、生活環境に関すること	27
結婚、出産、子育てに関すること	42
教育に関すること	16
防災・防犯、安全・安心に関すること	10
道路、交通、公園、都市計画に関すること	25
病院、医療、福祉に関すること	21
地域コミュニティに関すること	7
市民サービス、行財政運営に関すること	18
アンケートに関すること・その他	12
合計	272

【まちづくり全般に関すること】

- ・若者が「戻ってくるまち」を目指してほしい
- ・若者が行きたくなくなるおしゃれなまちづくり
- ・都会と明確な違いが感じられるよう、現在ある魅力を伸ばす施策が必要
- ・光市が生き残るといよりは近隣他市と共存する方向へ向かうべき
- ・高齢者へのウエイトが大きいので、若い世代へもっと目を向けてほしい
- ・様々な角度からの対策を継続的に実施すること
- ・山口県のほかの市町村にはないような施設をつくり「楽しい街」を目指すべき
- ・自然が豊かで海もきれいな光市を住みやすさ住みたい所ナンバー1にしてほしい
- ・どのような市を目指すか、夢を追うことも必要だが冷静かつ慎重に判断すべき
- ・将来への不安を、少しでも取り除いてくれる市の政策に期待します
- ・日本国内は元より世界へほこれる光市になってほしい
- ・光市独自の他市にはないグローバル化に対する対策を考えてみては
- ・住みやすさ山口県1番の市であってほしい
- ・全国の自治体のいいところを参考にする
- ・人口増加に成功した市の施策をまねる
- ・若い人の意見を取り入れる機会を増やす
- ・室積のお年寄りの意見をしっかりと聞いてあげてほしい
- ・光市駅伝競走大会を活用して（若い世代から）まちづくりへの意見を聞く
- ・今のままで良いと思います
- ・光市を愛していますので、これからも頑張ってください
- ・光市が好きなので自然豊かで素朴なこのままでいいなと思います

【産業、雇用、労働環境に関すること】

- ・農業等の就業支援やPRを行う
- ・農林水産業への支援・振興
- ・若い人が農業を引き継げるような環境づくり
- ・光を代表するような農水産物（ブランド）の開発
- ・耕作放棄対策も兼ねて、農地の貸借推奨や新規就農を後押しする施策の実施
- ・光市ならではの商品販売や、地産地消を促す商店街復活への取り組み
- ・飲食店や若者や子ども向けの施設が少ない
- ・老朽化する空店舗の活用を
- ・商業施設の充実
- ・大型の商業施設の誘致
- ・商業施設は下松や周南にまかせれば良い
- ・若い世代が住みたくなくなる様な商業施設やイベントの開催を
- ・雇用の受け皿の恒常的な創出
- ・家族を養える仕事に就けるよう支援がほしい
- ・働き口があれば自然に人は集まります

- ・企業を増やし県外県内の若い世代の雇用を
- ・企業と連携して若い世代の就職あっせんを
- ・各職種求人情報、各会社求人情報発信
- ・子どもを増やすよりも大人、若者の就業する場所を増やす取組みを
- ・専門を学んで帰郷して働きたいと考える学生の受け入れを
- ・大学進学時に都会へ出ていく人がまた戻って地元で働きたいと思えるようなPR
- ・高齢者の雇用の確保
- ・光市で生まれた子供が働ける場所（職場）の誘致
- ・Uターン枠での採用を民間でも
- ・市職員の給料を減らし、市職員の数を増やして雇用対策を
- ・周防工業団地を大きくする
- ・（企業に対して）短時間正社員の制度の充実を
- ・子育てしながら女性が働ける環境の整備
- ・仕事と子育ての両立に対する市のサポート（事業所への働きかけ）を
- ・働きながらも安心して子育てできる環境を
- ・女性が働き続けることができる環境づくりを
- ・親が安心して働けるよう子どもを見るサービスの充実
- ・子育てが終わっても正社員として働けるようにする
- ・結婚、妊娠、出産を就業したままでも安心して出来る風土づくり
- ・サービス残業やパワハラなどがない職場づくりが必要
- ・男性の労働時間短縮によって家事、育児の分担を
- ・広島、福岡への通勤費への補助を
- ・近隣市へ通勤、通学する人用のバス走行を
- ・就職、結婚、子育てに関する若者向けのセミナーの実施
- ・起業しやすい環境の確保
- ・魅力的な起業支援を待っています
- ・小規模の起業支援を
- ・発電事業の整備・助成（太陽光など）公的民間の会社をつくる

【シティセールス、観光、レジャーに関すること】

- ・子育てしやすいまち、おだやかな子育て環境のPRを
- ・自分が行きたいと思われないところには、ほかの人も行かない
- ・自然がいっぱいで、時間がのんびりと過ぎていく光市をもっとアピールして
- ・自然豊かで住みやすい環境を活かし知名度の向上を
- ・今ある環境をシンプルにわかりやすくアピール
- ・大河ドラマ“花燃ゆ”に乗じて、伊藤博文のPRを
- ・光市の素敵な所を動画にしてアップしてみても
- ・光市の良いイメージ作りや話題作りを
- ・光市に今あるイベントや新たなイベントを知ってもらう取組みを

- ・周南市、下松市等と合同でイベントを実施する
- ・夜間に時間をつぶせる場所がほしい
- ・映画館やボーリング場のような楽しめる施設の開発
- ・映画館をつくっては
- ・美術館の整備を
- ・野球場の整備を
- ・レジャー施設の充実を
- ・スケートリンクやマリンスポーツ環境の充実など、他の市にないものをつくる
- ・虹ヶ浜の周辺にホテルや大型複合型施設、レストランの誘致
- ・海水浴場に飲食店やホテルなど観光客向けの施設を
- ・若い人が好む海の家、きれいなシャワールーム付の着替えができる施設の整備
- ・昔みたいににぎやかな夏の海にしてほしい
- ・海など自然を生かした観光施設
- ・道の駅と普段の買物の双方に利用できるような施設をつくる
- ・観光パンフレットの多言語化
- ・観光振興の促進と情報発信。交流人口を増やすことが必要
- ・動物園や水族館など、観光目的で人を来させるような施設の整備
- ・(女性目線で) カッコいい男の人が増えれば訪れる人も増え、光の魅力が向上
- ・スペイン風パティオを建ててもみの木を植え、クリスマス観光名所とする
- ・B級グルメのような耳目を集めるものが必要
- ・光市でなければできないようなイベント計画

【移住・定住、住まい、生活環境に関すること】

- ・定住したいと思える他市にはないメリットの設定を
- ・福祉、医療、介護を充実し、高齢者の地方への移住受け入れを
- ・空き家バンクの登録物件について、ごみの処理費用などへの助成を
- ・国内外問わず移住者を受け入れる
- ・移住者からの提案に耳を傾けて
- ・どの年代の人達に増えてほしいのか市がしっかり考え、見合った助成等を
- ・経済的な不安があるため、市から助成があるとずっと光市に住みたいと思う
- ・空き家の積極的な有効活用を
- ・一律に金券を出すなど、市民に対し、年齢に関係のない支援を ナド
- ・マンションの誘致
- ・自然を壊されることなく素敵な景色はそのままであってほしい
- ・リゾートマンション、リゾート高齢者施設を誘致
- ・家賃への助成を
- ・家賃の金額や開発土地の金額が高いと思う
- ・ペット可のアパートを
- ・水道料金・下水道の使用料を今の半額に

- ・水源が豊かなわりに、水道代が高いのでは
- ・光熱費などを値下げして他の市より安い事をPR
- ・浄化槽のメンテナンス業者の選択を
- ・千坊山に第2千坊台をつくる
- ・土地の購入や家を建てた人への助成
- ・住みやすいベッドタウンを目指しては
- ・子育てしやすい住宅の提供
- ・公営住宅を増やす
- ・“住む”ことに特化したゆとりある住環境づくり
- ・町をキレイにすると人の気持ちに影響して町が明るくなる
- ・夜中に車やバイクの音がうるさい時があるので、厳しく取り締まってほしい

【結婚、出産、子育てに関すること】

- ・結婚祝い金の支給を
- ・婚活への支援を
- ・結婚について一人で生きていく事もライフスタイルとしてはいいのではないか
- ・同年代が出会える場を設ける
- ・出会いの場を提供し、カップルに助成金の支給、家賃補助等を
- ・若い夫婦世帯をターゲットに金銭的な支援を行う
- ・結婚や出産は機会があればするかもしれないが自然にありたい
- ・出産お祝金の創設
- ・中小企業でなく大手なら結婚を考える人も増えるのでは
- ・子どもを3人以上産んだ世帯へのお祝金の増加
- ・就園時期や年齢差に関係なく、第3子への助成、補助を手厚く
- ・産婦人科が充実していて良いと思います
- ・子ども医療費への助成の充実（所得制限の撤廃、無料期間の延長）を
- ・子育て時期・出産時などの金銭支援に思いきりお金をかけてほしい
- ・高齢者などの社会保障給付を見直し、子育て世代に予算を
- ・市費による子ども手当への増額を
- ・低所得者に対して子ども手当以外の援助を
- ・子育て家庭に紙オムツやミルクの現物支給を
- ・子育て支援に関する情報発信を産婦人科や教育機関にも協力してもらおう
- ・2つの大きな産婦人科や小児科の活用
- ・子育てする人へのアンケートをとり、声をきいて改善してほしい
- ・すべての家庭が安心して子どもを預けられる施設の整備を
- ・あいぱーくにあるような大型遊具を、気軽に行ける場所に設置してほしい
- ・雨の日などに小さな子どもを連れていける所の整備
- ・気軽に子育ての相談ができ、お母さんたちと知り合うことができるような場を
- ・小さい子どもがいる人たち同士の関わる場所、室内あそびが出来る場所の提供

- ・就学直後の子どもの預かりなど、すき間を埋める簡単に利用できるサービスを
- ・小さい子の託児所の整備を
- ・子どもをボランティアで見てくれる施設がほしい
- ・子育てに関して公民館などでも開放スペースの設置やイベントなどの実施
- ・昔の子育て大家族、近所などでカバーしあった部分を現代版にアレンジする
- ・二歳、三歳児健診を各医療機関で受診できるように
- ・保育園が少ない
- ・保育園の一時預かりが使いにくい
- ・保育園、幼稚園、学校の質向上
- ・幼稚園や保育園の園庭開放を
- ・保育園、幼稚園の開園時間延長を
- ・病児保育の充実を
- ・幼稚園の就園奨励費補助の拡充（所得制限撤廃）を
- ・幼稚園の保育料をもう少し安くしてほしい
- ・保育料の口座引き落としを
- ・女性の社会参加が期待されているが、家で育児ができる状態も必要

【教育に関すること】

- ・教育環境のさらなる向上
- ・教育費の減額、無償化を
- ・塾に通わなくてもよい学校教育の充実
- ・地元愛を育む教育の仕組みづくり
- ・子どもの教育費への援助（第2子は半額、第3子は無料等）
- ・光市に工業系の高等学校を
- ・若者が集まるように大学や専門学校などの誘致
- ・県全体で県内大学を有名にし、定員の増加を
- ・進学校となる中学校・高校学校の創設
- ・小中高教育の充実と卒業後の就職の場の確保
- ・美味しい給食の提供を
- ・給食費の負担軽減を
- ・サンホームの早朝開園を
- ・開放的で明るい図書館に
- ・無償ボランティアによる寺子屋塾の充実
- ・若い人が高校、大学を卒業した後に自分たちで考え活躍できるよう支援する

【防災・防犯、安全・安心に関すること】

- ・安心・安全！を望みます
- ・街灯が少ない。治安が良いまちに住みたい
- ・学校の通学路で暗いところがあります。街灯の強化を
- ・カーブミラーの設置

- ・防災、減災の対策を進め、外部にPRできるレベルに
- ・避難場所の周知を
- ・津波の発生に対し、避難経路の再確認や防波堤の設置
- ・河川の洪水が起こったら怖いので防波堤の設置
- ・空き家対策の適正な実施を
- ・空き家対策も兼ねて、中古物件のリノベーションへの推奨や補助

【道路、交通、公園、都市計画に関すること】

- ・インフラの充実。路面電車など車の要らない交通手段を作る
- ・光一下松間の道路が必要（新設）
- ・駅前が開発が必要だと思う
- ・用途地域の変更等も含め、人口減少時代を見据えた都市計画を
- ・バスや電車の本数を増やす
- ・バスと電車の時間のリンクを
- ・ICカードなど交通基盤の充実
- ・交通機関の充実（料金、時間）
- ・光駅の駐車場料金の据え置きを
- ・ぐるりんバスを室積に
- ・瀬戸風線の早期完成を
- ・朝の光・下松間の海岸線の渋滞対策
- ・上島田小学校、島田中学校の通学路の危険除去（歩道拡充）を
- ・道路の拡大及び駐車場の整備
- ・スポッチャができる施設など、どの世代でも気軽に遊びに行ける場所を
- ・公園の草刈りや遊具の導入など、遊びやすくしてキレイな公園を
- ・河原に公園やランニングコースのようなものを整備
- ・大型の遊具が設置されている公園を
- ・大和総合運動公園近くに芝生か土のジョギングロードをつくる
- ・誰もが活用出来るスポーツ施設や公園を増やして
- ・スポーツ公園やスポーツ交流村などを子どもが使いやすくしてほしい
- ・子どもと一緒に遊べる公園の充実（子供用トイレや授乳室の整備）
- ・子ども達がのびのび遊べる公園を（ボール遊び禁止などが多い）
- ・子育て世代が利用できる公園を増やす
- ・生態に気を配った河川や山の整備を

【病院、医療、福祉に関すること】

- ・市外の病院を利用する患者が多い
- ・医療機関、医療体制の充実
- ・急性の心疾患及び脳卒中に対応できる医療機関を
- ・光総合病院の外来時間の延長
- ・病院で子どものための相談会や体操などのイベントを

- ・公立の病院に常勤の医師を確保してほしい
- ・医療、福祉、保健機関の強化による健康増進
- ・健康行事への参加にポイント制を導入し、健康意識の向上を
- ・インフルエンザの任意予防接種無料化
- ・高齢者にとって住みやすい町づくり（交通・住宅・買物等々）
- ・高齢でも町へ出やすい支援
- ・商業施設、病院、高齢住宅用団地、介護施設の集約化
- ・高齢者や障害者が安心できるまちづくり
- ・老いるまで生き生きとやりがいを持ち、生活できるまちづくり
- ・若い人向けの施設の中に中高年の人も行く事ができる複合施設がほしい
- ・介護サービスを充実させ、老後への安心感を与える
- ・老人ホーム等の施設に安く入れるようにする
- ・光市独自の年金機構の立ち上げ
- ・市の負担で認知症検診を
- ・障害児を少しの間でも預かってもらえるサービスを
- ・収入が入るボランティア活動があればよい

【地域コミュニティに関すること】

- ・地域の方々とのコミュニケーションが取り易い環境づくり
- ・高齢者、若者、子育て世帯の交流の場の確保
- ・若者と高齢者の交流など大人間での異年齢者との交流を
- ・地域が顔なじみの関係でお互いに助け合える雰囲気づくり
- ・地域で各年代に応じたイベントや企画、自分の能力を生かせる場づくり
- ・地域ごとの特徴を生かした広報イベントの実施
- ・子ども達の心に残る子ども会行事を

【市民サービス、行財政運営に関すること】

- ・余った土地が多いが活用されていない
- ・市税の見直し（値下げ）
- ・市税の未納に対する徴税を徹底して
- ・税金の支払いを郵便局やコンビニで出来るようにしてほしい
- ・税金の支払い方法が選択できるように（月払いなど）
- ・税金をアップし、かつ市職員の給与をカットし様々な補助にまわす
- ・収入増を期待するより、節約する！無駄を省く！我慢する！
- ・市役所の対応が悪い
- ・公共施設の土・日曜日の完全運営
- ・転入手続きの書類に記入例などがなく戸惑った。改善を
- ・公務員の削減（人口減少にあわせて）
- ・市職員の増員
- ・市職員の市民サービスの向上

- ・市長、市議会議員、市職員の身を切る覚悟を
- ・市議会議員の削減を
- ・周南圏域でのまとまりのある取り組み
- ・人口を中心地に集約し効率的な行政サービスを
- ・決定、改善した政策をより多くの人に見てもらえるようにPRする

【アンケートに関すること・その他】

- ・TVチャンネルが少ない地域の解消を
- ・アンケートに使用した税金がムダにならないよう願うだけです
- ・アンケート結果のフィードバックの所在を明確にしてほしい
- ・アンケートをお願いするのであれば市内商品券を回答した人にあげる
- ・アンケートの定期的な実施を
- ・アンケートの返信用封筒にのり付けを
- ・光市の近辺に原発をつくらせない。最終処分場をつくらせない
- ・光市の近辺にアメリカ軍住宅を造らせない。アメリカ軍機を飛行させない
- ・交通ルールが乱れている。譲り合いの気持ちを市民が心掛ける
- ・県東部地域のスポーツイベントの中心地に
- ・私自身も光市がさらに活性化できるよう、いろんなことに挑戦していきたい
- ・光市という名は、キレイで覚えやすく好きです

II 転出者向けアンケート

1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的

転出者の現在の居住地や光市に対する意識等を把握し、光市人口ビジョン及び光市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するための基礎資料とするとともに、本市における今後の取組みの参考とします。

(2) 調査対象

18歳から49歳までの転出者500人

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(4) 調査期間

平成27年6月5日から19日までの15日間

(5) 配付回収状況

配付数	有効配付数：A	回収数：B	回収率：B/A
500	447	120	26.8%

(6) 調査項目

- ・あなた（回答者）ご自身について
- ・現在お住まいの場所について
- ・光市について

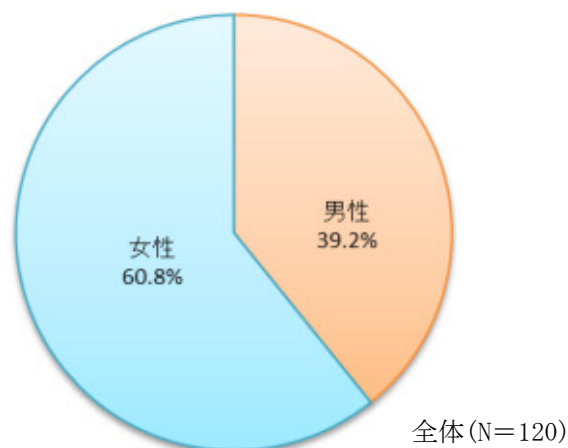
※本集計結果については端数処理の関係で、比率の数値の合計が100%にならない場合があります。

2 アンケート調査の結果

(1) あなた（回答者）ご自身について

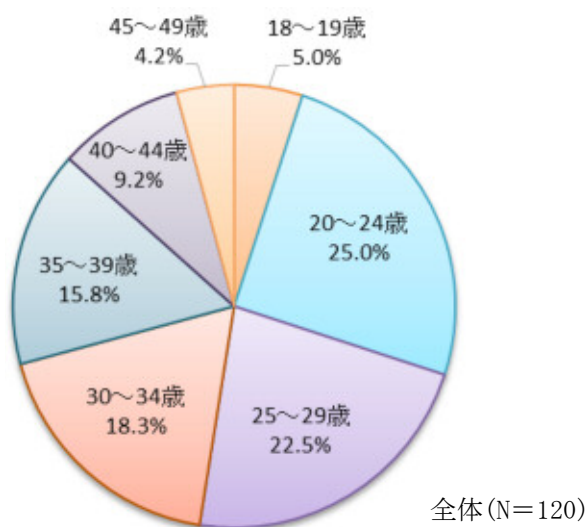
① 性別 問1

男性が39.2%、女性が60.8%となっています。



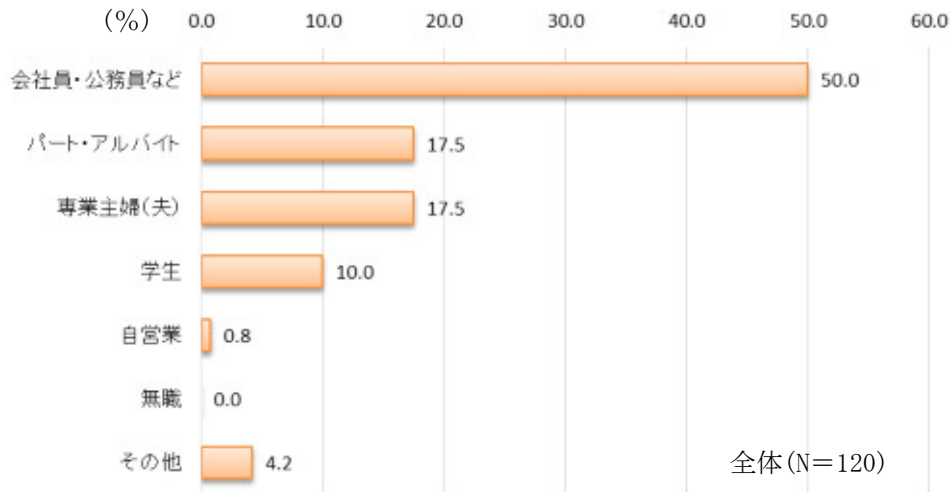
② 年齢 問2

10歳代が5.0%、20歳代が47.5%、30歳代が34.1%、40歳代が13.4%となっています。



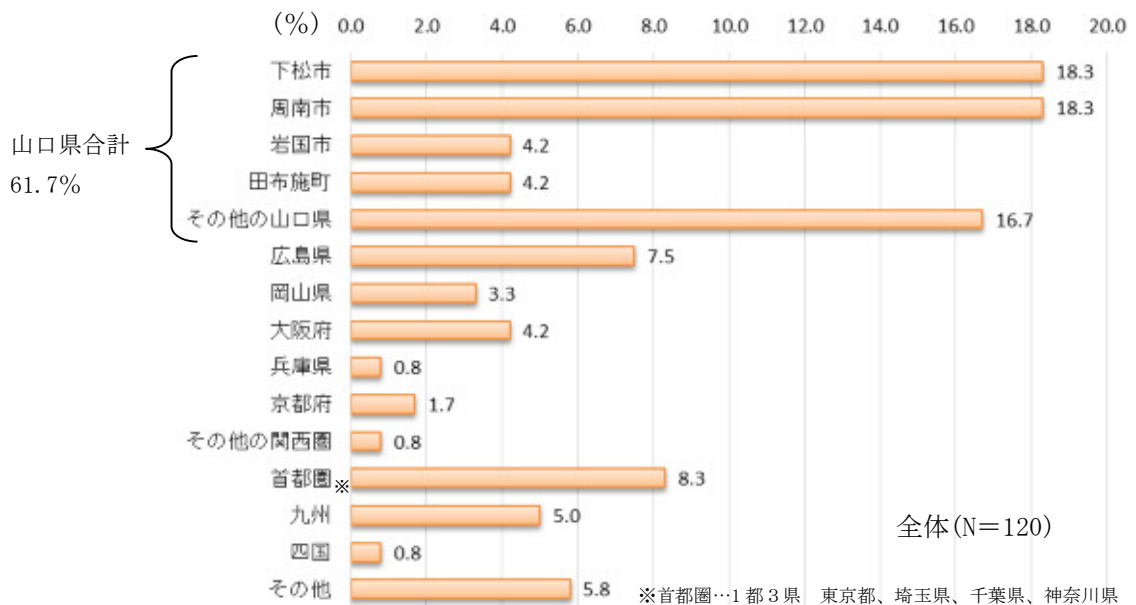
③ 職業 問3

「会社員・公務員など」が50.0%、「パート・アルバイト」、「専業主婦(夫)」が17.5%、「学生」が10.0%、「自営業」が0.8%となっています。



④ 居住地 問4

下松市、周南市の各18.3%をはじめ、山口県内が61.7%、首都圏が8.3%、広島県が7.5%となっています。

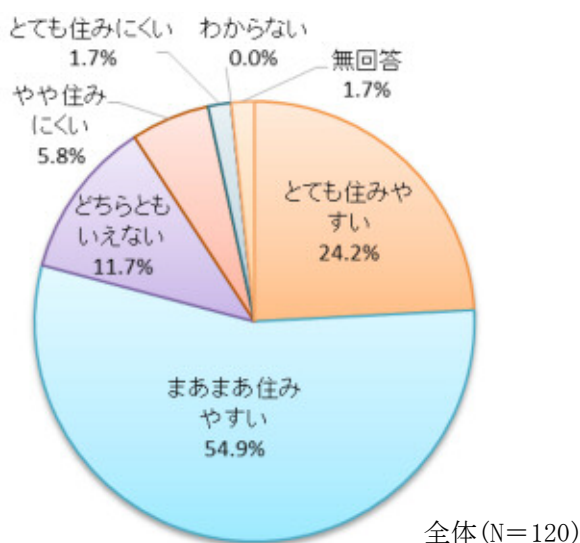


(2) 現在お住まいの場所について

① 現在お住まいの場所の住みやすさ 問5

現在お住まいの場所が住みやすいと感じるかについては、「とても住みやすい」(24.2%)、「まあまあ住みやすい」(54.9%)を合わせた割合は79.1%で、約8割の人が「住みやすい」と答えています。

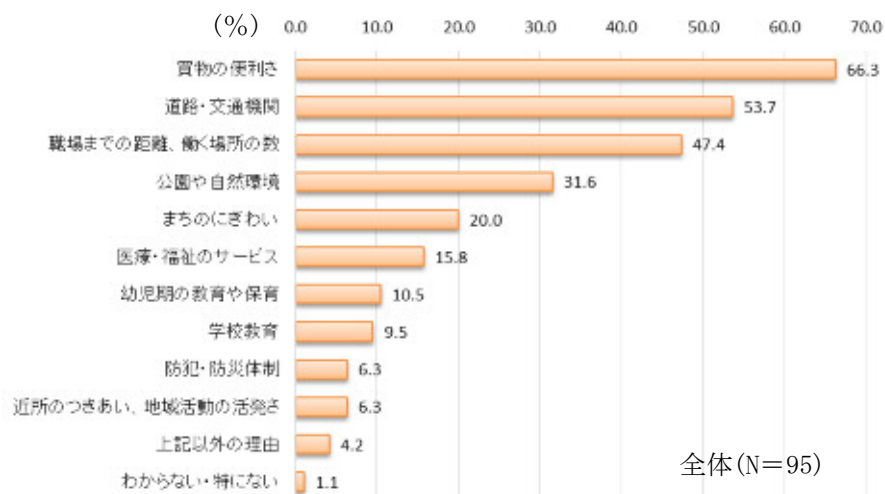
一方、「とても住みにくい」(1.7%)、「やや住みにくい」(5.8%)を合わせた割合は7.5%となっています。



② 現在お住まいの場所が住みやすいと感じられる点 問5-1

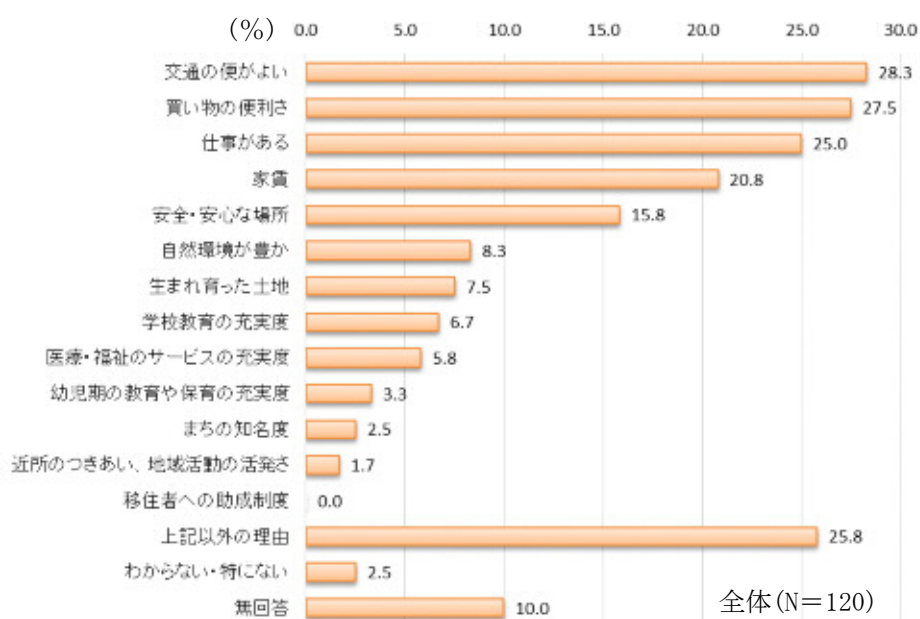
(問5 で「市内で就職・転職したい」「市外で就職・転職したい」と答えた方のみ)

現在お住まいの場所が住みやすいと感じられる点については、「買物の便利さ」が66.3%で最も多く、次いで「道路・交通機関」が53.7%、「職場までの距離、働く場所の数」が47.4%の順となっており、日常生活における利便性についての項目が高くなっています。



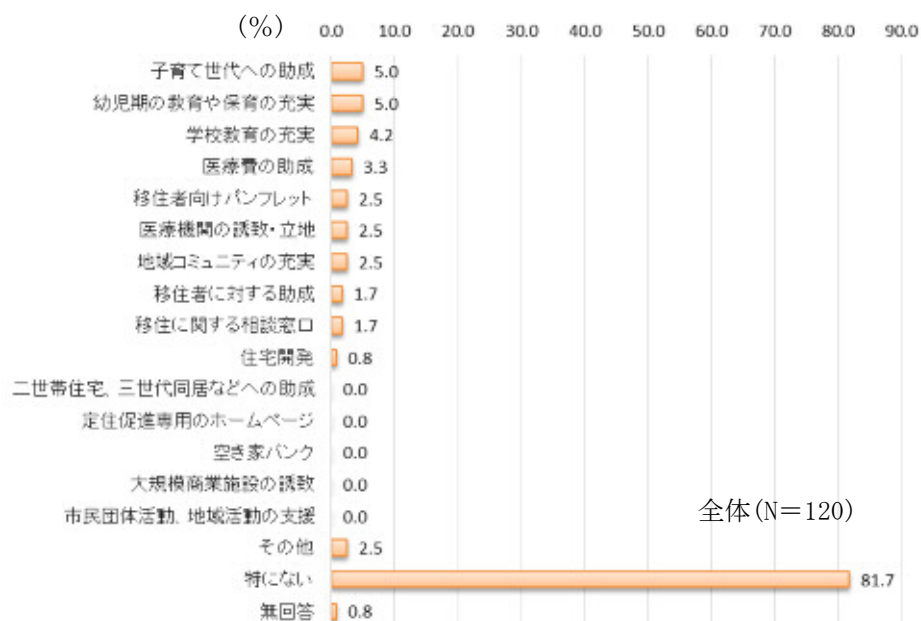
③ 現在お住まいの場所を決定した際に重視した点 問6

現在お住まいの場所を決定した際に重視した点については、「交通の便がよい」が28.3%で最も多く、次いで「買物の便利さ」(27.5%)、「仕事がある」(25.0%)、「家賃」(20.8%)等が続いており、日常生活における便利さや、仕事・家賃等、経済的な面を重視する傾向があります。



④ 転出される際に参考にした行政サービス 問7

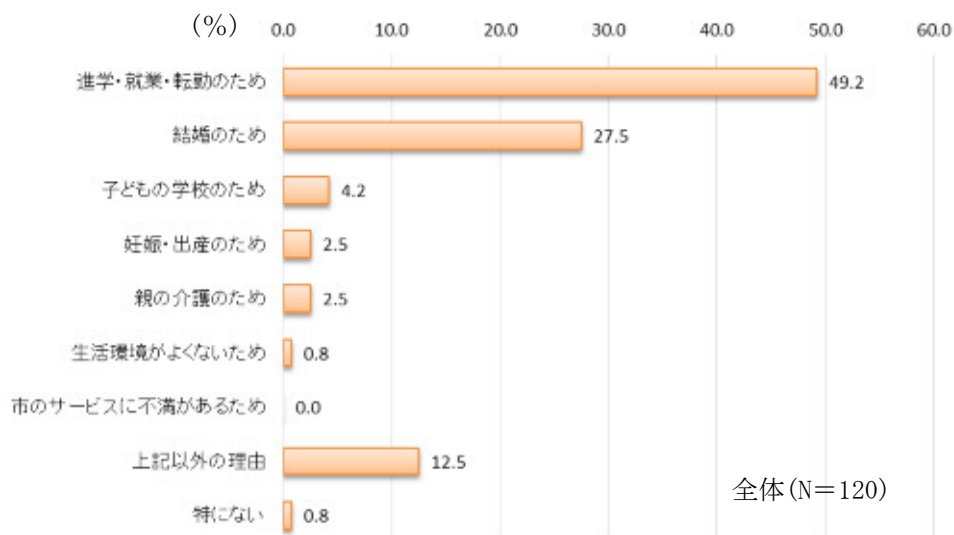
転出される際に参考にした行政サービスについては、「子育て世代への助成」、「幼児期の教育や保育の充実」が5.0%、「学校教育の充実」が4.2%の順となっています。一方、「特にない」が8割以上を占めています。



(3) 光市について

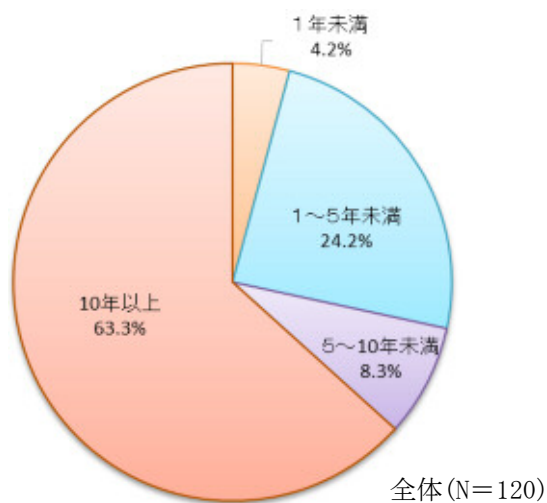
① 転出された理由 問8

転出された理由については、「進学・就業・転勤のため」が49.2%と半数近くを占めています。次いで「結婚のため」が27.5%となっており、2つを合わせると約8割にのぼっています。



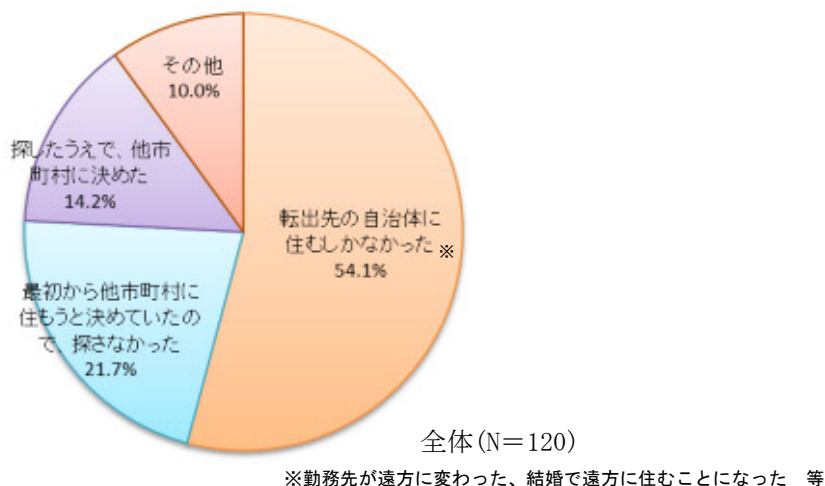
② 光市に住んでいた期間 問9

光市にお住まいの期間については、「10年以上」が63.3%で最も多く、次いで「1～5年未満」(24.2%)、「5～10年未満」(8.3%)の順となっています。



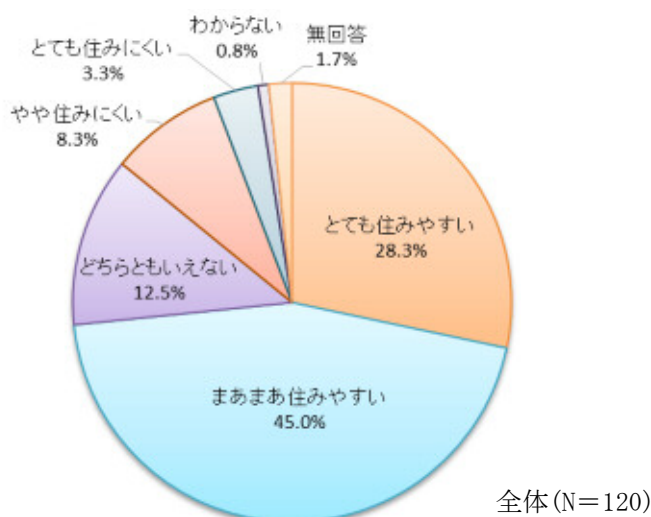
③ 光市内でもお住まいを探されたかどうかについて 問 10

転出の際、光市内で住まいを探されたかどうかについては、「転出先の市町村に住むしかなかった」が54.1%と最も多く、「最初から他市町村に住もうと決めていたので、探さなかった」(21.7%)と合わせると75.8%を占めています。一方、「探したうえで、他市町村に決めた」が14.2%と、住まい次第で1割以上の人が光市に居住の可能性があったことがうかがえます。



④ 光市の住みやすさについて 問 11

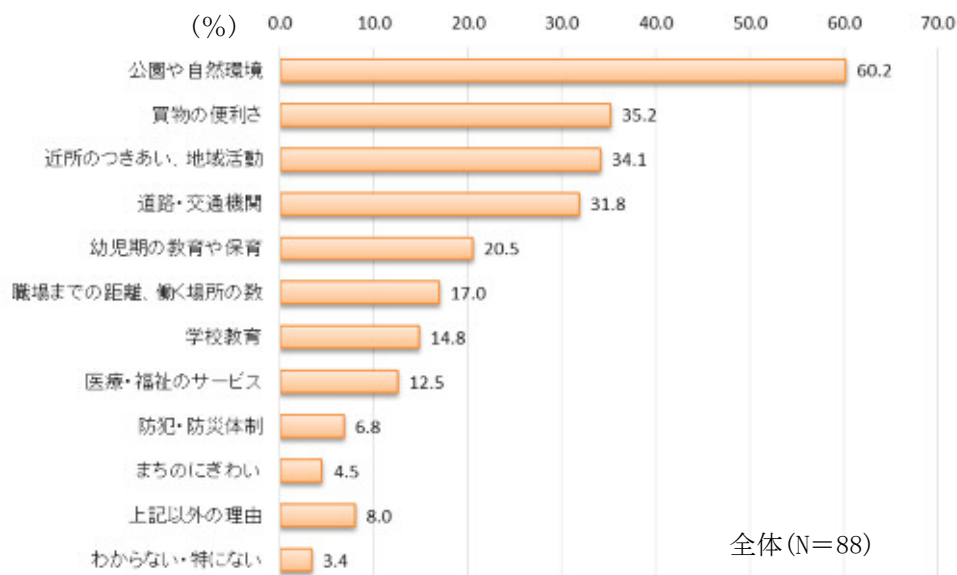
光市は全体的に住みやすいと感じられたかどうかについては、住みやすい(「とても住みやすい」(28.3%) + 「まあまあ住みやすい」(45.0%))が73.3%で、約7割の人が住みやすいと答えています。一方、住みにくい(「とても住みにくい」(3.3%) + 「やや住みにくい」(8.3%))と感じた人は11.6%となっています。



⑤ 光市が住みやすいと感じられた点 **問 11-1**

(**問 11** で「とても住みやすい」「まあまあ住みやすい」と答えた方のみ)

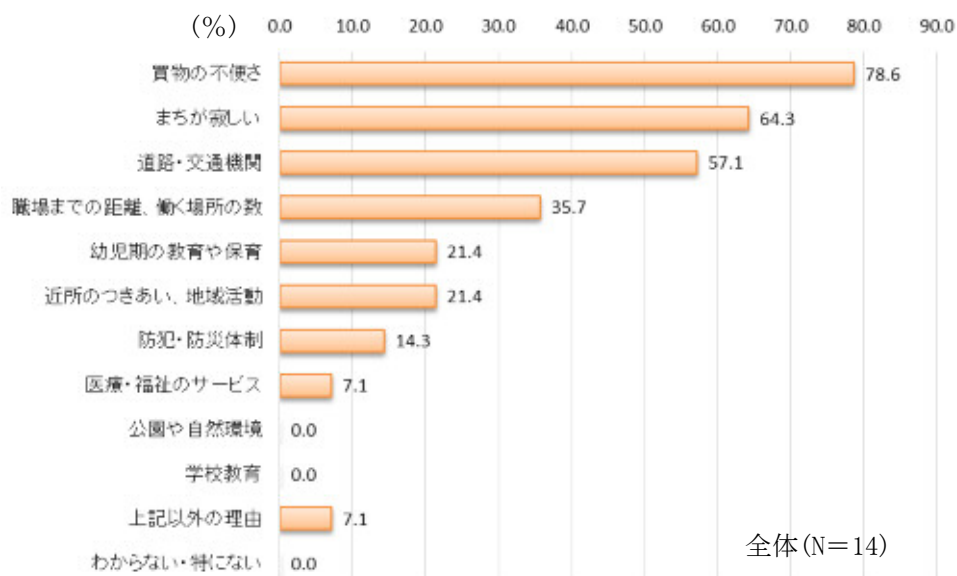
光市が住みやすいと感じられた点については、「公園や自然環境」が60.2%で最も多く、次いで「買物の便利さ」(35.2%)、「近所のつきあい、地域活動」(34.1%)の順となっています。



⑥ 光市が住みにくいと感じられた点 **問 11-2**

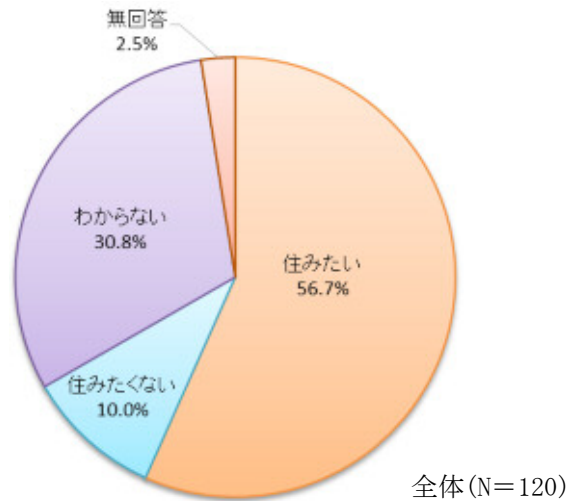
(**問 11** で「やや住みにくい」「とても住みにくい」と答えた方のみ)

光市が住みにくいと感じられた点については、「買い物の不便さ」が78.6%で最も多く、次いで「まちが寂しい」(64.3%)、「道路・交通機関」(57.1%)の順となっています。



⑦ また光市に住みたいと思うかについて **問 12**

機会があれば、また光市に住みたいと思われるかについては、「住みたい」が56.7%で半数以上となっています。一方、「住みたくない」と答えた人は10.0%となっています。



⑧ 「住みたい」又は「住みたくない」理由（自由記述） **問 12-1**
（問 12 で「住みたい」「住みたくない」と答えた方のみ）

機会があれば光市に「住みたい」理由については、生まれ育った場所であることや、自然環境、子育て環境や人の温かさなどを挙げる人が多くなっています。一方、「住みたくない」理由については、交通機関の利便性や買い物、商業施設やレジャー施設の不足を挙げる人が多くなっています。

【住みたい理由】

- ・スーパーや病院などいろいろ便利
- ・自分が生まれ育った場所なので
- ・室積で生まれ育ち、室積が大好きだから
- ・人が温かいと思います。よそから来た人にも親切
- ・都会に出てみると光の豊かな自然が恋しい
- ・道路がきれいなので、不快感を抱かない。運転しやすい
- ・地域の方と程よい関係性が保たれていると感じる
- ・地元なので、やっぱり落ち着く。光市の人は良い人、優しい人が多い
- ・地元の安心さ、近所の人との付き合いやすさなどが魅力
- ・海があり、生活する環境がきれいでした

- ・実家があるから。友人も多いし、楽しく過ごせる
- ・生活をしていく上で、不便さを感じなかったから
- ・小児科が充実している
- ・気候が温暖で住みやすかった
- ・子育てをする上で海を子どもと一緒に楽しめるのが良かった
- ・職場に近い
- ・会社が光市にあるので、結婚など機会があれば住みたい
- ・海が大好きなので、光市は好きです
- ・知人が多く、第二の故郷であるため
- ・子育て支援の助成が薄い
- ・長年住み慣れており、適度に田舎だから
- ・住んでいる時に全く不満がなかった。できれば住み続けたかった
- ・自然が多くて空気が気持ちいいから
- ・自宅があるため（持家）
- ・安心して子どもが育てられるから
- ・光の市民性もとても良かった
- ・以前転入した際、市職員、職場、近所など温かく対応してくれた
- ・子どもの保育園が光市のため
- ・光市を離れてみて、初めて光市の良さに気付いた

【住みたくない理由】

- ・高速道路のインターが近くにない。大型商業施設がない
- ・子ども関係の書類はあいぱ一くまで行かなければいけない
- ・日常的な買い物、レジャーなど選択肢が少ない
- ・お店が少ない（飲食店チェーン店、衣料品店、生活雑貨店等）
- ・病院が限られている
- ・車が無いと交通の便も悪くて歳を取ってからの生活が不安
- ・公共交通機関の便が悪い
- ・街自体も活気が年々無くなり、帰省の度に寂しい気持ちになります
- ・隣の県にまで行かないと遊べるようなところがない
- ・不良少年が多い気がするので安心して駅等を利用できないと思うから
- ・中心部とそれ以外の地域の環境の格差がありすぎる
- ・引越しはもうしたくない
- ・住民にまちを良くしようという意識が感じられない
- ・山口県には魅力を感じない
- ・自分のやりたい事や職業によってできない事もあるため
- ・休日がヒマをもてあます
- ・実家から遠いため

⑨ 人口減少に歯止めをかけるための施策について（自由記述） 問 13

人口減少に歯止めをかけるための施策についての提言では、81人の方から83件（重複を除く）のご意見・ご提言をいただきました。その内訳は下記のとおりです。

分 野	件 数
まちづくり全般に関すること	4
産業、雇用、労働環境に関すること	15
シティセールス、観光、レジャーに関すること	8
移住・定住、住まい、生活環境に関すること	12
結婚、出産、子育てに関すること	15
教育に関すること	7
防災・防犯、安全・安心に関すること	2
道路、交通、公園、都市計画に関すること	10
病院、医療、福祉に関すること	2
地域コミュニティに関すること	2
市民サービス、行財政運営に関すること	4
アンケートに関すること・その他	2
合計	83

【まちづくり全般に関すること】

- ・生活をする上では便利だけど、もっと特色をいっぱい出してほしい
- ・過疎化している地域にも十分なサービスを
- ・光市らしい特徴を生かした町おこしを
- ・何か独自性のある、全国に例をみない施策を期待したい

【産業、雇用、労働環境に関すること】

- ・企業の誘致、働き口の増加
- ・今後発展するIoTなどで都会に居なくても仕事ができる環境づくりを
- ・働き場所が増えたらいいと思います
- ・希望を持ち助け合って働けるような企業を
- ・光市にお金が落ちる産業を
- ・地場産業の育成を
- ・労働力を安く買わない職場→老後の不安がないくらい稼げる環境を
- ・高校生の地元への進学や就職に優遇策を
- ・大学進学後に戻ってこれるような魅力的な企業や仕事を増やす
- ・大型商業施設の誘致
- ・映画館みたいに人が集まるような所を
- ・若者向けの店があるといいと思う
- ・若い人でも行きたくなるようなショッピングセンターの誘致
- ・様々な企業やお店が参入し、価格の競争やサービスの向上が必要
- ・物や食にこだわったお店づくりへの支援

【シティセールス、観光、レジャーに関すること】

- ・子育て環境をアピールする
- ・観光名所・観光資源（海産物など）のPR
- ・虹ヶ浜でもっと夏にイベントを行う
- ・豊かな自然（冠梅園、虹ヶ浜等）をもっとアピールする
- ・ゆるキャラの提案
- ・安心して住めるまちだということを、全国にアピール
- ・海でのイベントや人が集いやすい娯楽施設などフリースペースを増やす
- ・自然環境豊かさを生かして子育て世代を誘致

【移住・定住、住まい、生活環境に関すること】

- ・家賃への補助を
- ・外から人を呼ぶよりも、住んでいる人がずっと住みたいと思えるような環境を
- ・中古住宅の利用を
- ・空き家バンクの実施を
- ・若い世代が住みやすい環境。市営住宅のリフォームや増築等
- ・家を建てたくても土地が無い
- ・マンション等の賃貸物件の充実を
- ・地価を下げ、永住できる住宅を購入しやすくする。または助成金を
- ・生活費（水道代など）を安くする
- ・車無しでも生活できるよう、色んな事が一つの場所で済ませられる複合施設を
- ・ごみ出しの区別が細か過ぎて、時間と手間がかかる
- ・ごみ袋の値段が高いし、各々の袋が小さい

【結婚、出産、子育てに関すること】

- ・出産時の祝い金を
- ・2つの産婦人科との連携
- ・子育て世代への支援
- ・子育て支援の強化
- ・子どもを産んでも生活が苦しくならないような環境づくり
- ・子ども医療費助成の拡充を
- ・不妊に悩む方への支援充実を
- ・20歳くらいになったら、市の子育て支援のサービスを知らせておく
- ・未就学時が居る家庭に対する子育てサポート（一時預かりなど）
- ・充実の子育て環境（保育園、小児科、産婦人科等）を伸ばして行ってほしい
- ・休日に子どもと過ごせる施設がほしい
- ・病児・病後児保育、日曜保育、市の手続き中の預かり等々はとても助かりました
- ・保育料の減額を
- ・幼児教育や保育を充実させて母親が住みやすい市に
- ・幼稚園の選択肢の拡充を

【教育に関すること】

- ・学校教育の充実
- ・校区外からも生徒・児童・園児を率先して受け入れる
- ・市内高校の学力向上を
- ・放課後に子どもを預かってくれる場の充実
- ・子どもが気軽に立ち寄り、本を選べる図書館に
- ・図書館などの文化施設の充実を
- ・光市から通学できる範囲に大学を

【防災・防犯、安全・安心に関すること】

- ・海が近いため、地震の時の津波対策
- ・島田川の増水が少し怖いので、川の整備を

【道路、交通、公園、都市計画に関すること】

- ・公共交通機関（バス、電車）の充実（本数、料金の値下げ）
- ・ぐるりんバスなどの本数、運行範囲を増やしてほしい
- ・島田駅前の交差点に信号を
- ・海岸沿いの道路（光一下松間）の整備
- ・大和支所周辺の道路を広くしてほしい
- ・スポーツ施設をもっと市民が使いやすい場に
- ・スポーツに関わる政策、環境の充実（人工芝のフットサル場）
- ・子どもを日々遊ばせることができる公園（身近な公園）の充実を
- ・光駅の周辺環境の充実
- ・駅前の活用を

【病院、医療、福祉に関すること】

- ・福祉サービスの充実
- ・医療、福祉（老人）施設が少ない

【地域コミュニティに関すること】

- ・お祭りなどの行事へ呼びかけを
- ・地域活動の内容の充実（親子参加型の活動など）

【市民サービス、行財政運営に関すること】

- ・箱物行政も不要、新たなインフラも不要
- ・遊び心を持って、チャレンジ精神のある自治体に
- ・周辺市町との連携を（下松市、柳井市、平生町）
- ・公共施設はそろっている

【アンケートに関すること・その他】

- ・大和地域に、もっと元気を!!
- ・沖田アパートの跡地に人が集まれるような場所を

参考資料

	ページ
● アンケート調査表（市民向け）	40
● アンケート調査表（転出者向け）	52

「地方創生に関するアンケート」 ご協力をお願い

平素から光市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
市では、今年度、人口減少に歯止めをかけ、まちに活力を生み出すことを目指して、「(仮称)光市人口ビジョン」と「(仮称)光市総合戦略」の策定を進めています。

この調査は、皆様の結婚・出産・子育て、仕事、住まいなどについてのご意向をお伺いし、総合戦略等を策定するための基礎資料にするとともに、今後の取組みの参考にすることを目的にしています。

調査にあたりましては、市内にお住まいの18歳から49歳までの男女1,500人を、住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。

なお、回収されたアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。

ご多用のところお手数ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年6月

光市長 市川 照

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
2. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に(1つに○)、(あてはまるものすべてに○)などと記載しておりますので、それに沿ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に○をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に沿ってご回答ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、下記の投函期限までにご投函ください。

投函期限：6月19日(金)まで

◎本調査へのご質問またはご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

光市 政策企画部 企画調整課 企画係 担当：西村

住 所 光市中央六丁目1番1号

電 話 0833-72-1400 (内線212)

FAX 0833-72-1436

メール kikaku@city.hikari.lg.jp

あなたご自身についてうかがいます。

問1 あなたの性別は？（1つに〇）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢は？（1つに〇）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20～24 歳 | 3. 25～29 歳 |
| 4. 30～34 歳 | 5. 35～39 歳 | 6. 40～44 歳 |
| 7. 45～49 歳 | | |

結婚についてうかがいます。

問3 あなたは、現在、結婚されていますか？（1つに〇）

- | | | |
|------------------|---------------------|---------------------|
| 1. していない
（未婚） | 2. していない
（婚姻歴あり） | 3. している
（事実婚を含む） |
| ⇒ 問3-1 へ | ⇒ 問3-1 へ | ⇒ 問4 へ |

【問3 で「1. していない（未婚）」、「2. していない（婚姻歴あり）」を選択した方
にうかがいます。】

問3-1 現在、結婚しておられない理由は何ですか？（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 結婚したい相手がいない | 2. 家族で生活するほどの収入がない |
| 3. 結婚資金が足りない | 4. 異性とうまく付き合えない |
| 5. 異性と出会う機会、きっかけがない | 6. まだ若すぎる |
| 7. 一人の方が精神的に自由でいられる | 8. 経済的に自由がきく |
| 9. 仕事（学業）に打ち込みたい | 10. 結婚に意味を見出せない |
| 11. 上記以外の理由 | 12. 特にない |

問3-2 今後の結婚に関するあなたのご希望は次のうち、どれにあてはまりますか？（1つに〇）

1. いずれ結婚するつもり 2. 結婚するつもりはない 3. わからない

問3-3 結婚後（仮に結婚するとして）も光市に住み続けたいと思われませんか？（1つに〇）

1. 住み続けたい 2. 住み続けたくない 3. わからない

問4 結婚したい方が、希望通り結婚できる環境づくりを進めるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思われませんか？（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 安定した雇用の支援 | 2. 住まいの支援 |
| 3. 結婚祝い金などの経済的支援 | 4. 婚活イベントなどによる出会いの場の提供 |
| 5. 結婚相談窓口（仲立ち） | 6. 結婚に関する講習会 |
| 7. 異性と接する際のマナーや身だしなみなどを学ぶ講座 | 8. 結婚を推奨するようなPR |
| 9. 特にない | 10. その他（ ） |

出産・子育てについてうかがいます。

問5 あなたは、現在、お子さんが何人いらっしゃいますか？（1つに〇）

1. 0人 2. 1人 3. 2人
4. 3人 5. 4人 6. 5人以上

問6 最終的に何人のお子さんをもうけるご予定ですか？（現在いるお子さんの人数も含む）
（1つに〇） ※未婚の方は、現時点の思いをお聞かせください。

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 |
| 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問7 あなたにとって理想のお子さんの数は何人ですか？（現在いるお子さんの人数も含む）
（1つに〇） ※未婚の方は、現時点の思いをお聞かせください。

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 |
| 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |

問8 あなたにとって理想のお子さんの数を実現するために、課題となること（なったこと、なりそうなこと）は何ですか？（あてはまるものすべてに〇）
※未婚の方は、現時点の思いをお聞かせください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 子育てにお金がかかりすぎる | 2. 家が狭い |
| 3. 仕事への差し支えや職場環境の不備 | 4. 子育てを手助けしてくれる人がいない |
| 5. 子どもを預ける施設が整っていない | 6. 妊娠・出産・子育てに関する情報不足 |
| 7. 年齢的な問題 | 8. 育児・出産の心理的・肉体的な負担 |
| 9. 不妊や健康上の問題 | 10. 配偶者の家業・育児への協力が見込めない |
| 11. 上記以外の理由 | 12. 特にない |

問 9 今後、子育てに関する取組みとして、市が最も力を入れるべきだと思われるのは次のうち、どれですか？（1つに〇）

1. 幼稚園・保育園などの施設の充実
2. 子どもを預かるサービス時間の延長
3. 幼児期の教育・保育の質の向上
4. 学校教育施設の充実
5. 学校教育の質の向上
6. 幼稚園・保育園・学校と地域との連携
7. 様々なイベント・講演会などの実施や情報提供の充実
8. 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付
9. 保健・医療体制の充実
10. その他（）
11. 特になし

住みやすさについてうかがいます。

問 10 あなたが、通勤・通学等で要する時間はどれくらいですか？（1つに〇）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 15分未満 | 2. 15～30分未満 |
| 3. 30分～1時間未満 | 4. 1時間～1時間30分未満 |
| 5. 1時間30分以上 | 6. 通勤・通学をしていない |

問 11 あなたが、通勤・通学等で要する時間として許容できる時間はどれくらいですか？（1つに〇）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 15分未満 | 2. 15～30分未満 |
| 3. 30分～1時間未満 | 4. 1時間～1時間30分未満 |
| 5. 1時間30分以上 | |

問 12 あなたは、将来的に市外へ引っ越されるご予定はありますか？（1つに○）

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 近々、引っ越す予定である
⇒ 問 12-1 へ | 2. 予定はないが、いずれ引っ越したい
⇒ 問 12-1 へ |
| 3. 引っ越す予定はない
⇒ 問 13 へ | 4. わからない
⇒ 問 13 へ |

【 問 12 で「1. 近々、引っ越す予定である」、「2. 予定はないが、いずれ引っ越したい」を選択した方にうかがいます。】

問 12-1 引っ越される理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 進学・就業・転勤のため | 2. 結婚のため |
| 3. 妊娠・出産のため | 4. 子どもの学校のため |
| 5. 親の介護のため | 6. 市のサービスに不満があるため |
| 7. 生活環境がよくないため | 8. 通勤・通学が遠いため |
| 9. 上記以外の理由 | 10. 特にない |

問 13 あなたが、住む場所を検討される（された）際に、重視する（した）点は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が豊か | 2. 交通の便がよい |
| 3. 仕事がある | 4. 安全・安心な場所 |
| 5. 幼児期の教育や保育の充実度 | 6. 学校教育の充実度 |
| 7. 家賃 | 8. 医療・福祉のサービスの充実度 |
| 9. 移住者への助成制度 | 10. 買い物の便利さ |
| 11. まちの知名度 | 12. 近所のつきあい、地域活動の活発さ |
| 13. 生まれ育った土地 | 14. 上記以外の理由 |
| 15. わからない・特にない | |

問 14 光市が住みやすいと感じる点はどういったところですか？
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 公園や自然環境 | 2. 道路・交通機関 |
| 3. 職場までの距離、働く場所の数 | 4. 防犯・防災体制 |
| 5. 幼児期の教育や保育 | 6. 学校教育 |
| 7. 近所のつきあい、地域活動の活発さ | 8. 医療・福祉のサービス |
| 9. まちのにぎわい | 10. 買い物の便利さ |
| 11. 上記以外の理由 | 12. わからない・特にな |

問 15 あなたが、住む場所を決めたり、住宅を購入されたりする際に、参考とする行政サービスは何ですか？(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 移住者に対する助成 | 2. 子育て世代への助成 |
| 3. 二世帯住宅、三世帯同居などへの助成 | 4. 移住者向けパンフレット |
| 5. 移住に関する相談窓口 | 6. 定住促進専用のホームページ |
| 7. 空き家バンク | 8. 住宅開発 |
| 9. 大規模商業施設の誘致 | 10. 幼児期の教育や保育の充実 |
| 11. 学校教育の充実 | 12. 医療費の助成 |
| 13. 医療機関の誘致・立地 | 14. 地域コミュニティの充実 |
| 15. 市民団体活動、地域活動の支援 | 16. その他() |
| 17. 特にな | |

働くことについてうかがいます。

問 16 あなたは、現在、働いておられますか？

- | | |
|------------|------------|
| 1. 働いている | 2. 働いていない |
| ⇒ 問 16-1 ^ | ⇒ 問 16-7 ^ |

【問 16】で「1. 働いている」を選択した方にうかがいます。】

問 16-1 あなたの就業形態を教えてください。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 正社員・正規の職員 | 2. 自営業主・家族従業者 |
| 3. 派遣・嘱託・契約社員 | 4. パート・アルバイト |

問 16-2 現在、働いている環境で満足している点は何ですか？
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 給与 | 2. 休みの日数(有休の取得など) |
| 3. 労働時間 | 4. 通勤時間 |
| 5. 職場の人間関係 | 6. 仕事の内容・やりがい |
| 7. 福利・厚生 | 8. 介護・育休制度の有無 |
| 9. 法令遵守(パワハラ・セクハラなど) | 10. 上記以外 |
| 11. 特になし | |

問 16-3 現在、働いている環境で改善してほしい点は何ですか？
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 給与 | 2. 休みの日数(有休の取得など) |
| 3. 労働時間 | 4. 通勤時間 |
| 5. 職場の人間関係 | 6. 仕事の内容・やりがい |
| 7. 福利・厚生 | 8. 介護・育休制度の有無 |
| 9. 法令遵守(パワハラ・セクハラなど) | 10. 上記以外 |
| 11. 特になし | |

問 16-4 あなたは、現在、どちらで働いておられますか？（就業形態は問わない）
（1つに○）

1. 市内

2. 市外

⇒ 問 17 へ

⇒ 問 16-5 へ

【 問 16-4 で「2. 市外」を選択した方にうかがいます。】

問 16-5 働いておられる市町村はどちらですか？（あてはまるもの1つに○）

1. 下松市

2. 周南市

3. 柳井市

4. 岩国市

5. 田布施町

6. その他（ ）

問 16-6 現在、働いている場所と異なる光市にお住まいの理由は何ですか？
（あてはまるものすべてに○）

1. 現在の職場で働く前から住んでいたから（実家を含む）

2. 家族が市内に通勤・通学しているから

3. 人間関係がよいから
（友達がいるなど）

4. 職場に近いから（交通の便がよいから）

5. 自然環境がよいから

6. 医療・福祉のサービスがよいから

7. 家賃が安いから

8. 教育環境がよいから

9. 「光」という名前がよいから

10. 上記以外の理由

⇒回答後は 問 17 へお進みください。

【 問 16 で「2. 働いていない」を選択した方にうかがいます。】

問 16-7 あなたは、現在、何をしておられますか？（1つに○）

1. 専業主婦（夫）

2. 学生

3. 無職

4. その他（ ）

問 16-8 あなたが今後働くことになれば、次のうち、どの分野の仕事を希望されますか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 農林業・畜産業 | 2. 水産業 |
| 3. 工業（大企業） | 4. 工業（中小企業） |
| 5. 商業・サービス業（大企業） | 6. 商業・サービス業（中小企業） |
| 7. 公務員 | 8. 自由業（芸能・スポーツ・弁護士など） |
| 9. 上記以外の職種 | 10. 働きたくない |

問 17 あなたは、今後、新たに職に就く、もしくは転職のご希望はありますか？（1つに○）

- | | | |
|-----------------|--------------------|--------------------|
| 1. 就職・転職の希望はない | 2. 市内で
就職・転職したい | 3. 市外で
就職・転職したい |
| ⇒ 問 18 へ | ⇒ 問 17-1 へ | ⇒ 問 17-1 へ |

【 **問 17** で「2. 市内で就職・転職したい」と「3. 市外で就職・転職したい」を選択した方にうかがいます。】

問 17-1 あなたは（将来的に）仕事を選択する上で何を重視されますか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 給与 | 2. 休みの日数（有休の取得など） |
| 3. 労働時間 | 4. 通勤時間 |
| 5. 職場の人間関係 | 6. 仕事の内容・やりがい |
| 7. 福利・厚生 | 8. 介護・育児制度の有無 |
| 9. 法令順守（パワハラ・セクハラなど） | 10. 上記以外の理由 |

問 18 光市のよりよい労働市場を形成するために、次の行政サービスのうち、必要だと感じるものは どれですか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 起業支援 | 2. 企業情報などの情報発信 |
| 3. 職場環境向上のための企業向け広報 | 4. 企業などと連携した職業体験 |
| 5. ビジネススキル向上のためのセミナー | 6. 合同就職（転職）説明会 |
| 7. 求人と求職のマッチング | 8. 就労に関する相談窓口 |
| 9. その他（ | ） |

人口減少社会におけるまちづくりについてうかがいます。

問 19 「（仮称）光市人口ビジョン」では、人口減少社会への対応に取り組む上での目安となる、人口の将来展望を設定する予定です。光市の人口は、現在の約 52,000 人から 2060 年には約 30,000 人弱になるという推計もあります。あなたは、何人くらいが本市の人口としてちょうどよいと思われませんか？（1つに○）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 30,000 人未満 | 2. 30,000～40,000 人未満 |
| 3. 40,000～50,000 人未満 | 4. 50,000 人以上 |
| 5. わからない | |

⇒ 裏面あり

問 20 今後、光市が活性化し、(将来的な)人口減少に歯止めをかけるためには、市としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。あなたが普段感じておられることを教えてください。(ご自由に記入してください)

ご協力ありがとうございました。

ご記入済のアンケートは同封の返信用封筒に入れて**6月19日(金)まで**にご投函ください。

「地方創生に関するアンケート」 ご協力をお願い

光市では、今年度、人口減少に歯止めをかけ、まちに活力を生み出すことを目指して、「(仮称)光市人口ビジョン」と「(仮称)光市総合戦略」の策定を進めています。

この調査は、皆様が現在お住まいの場所のことや、光市にお住まいの時に感じておられたことなどをお伺いし、総合戦略等を策定するための基礎資料にするとともに、今後の取組みの参考にすることを目的にしています。

調査にあたりましては、平成24年4月から平成27年3月までに光市から転出された18歳から49歳までの男女500人を、住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。

なお、回収されたアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。

ご多用のところお手数ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年6月

光市長 市川 照

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。
2. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと記載しておりますので、それに沿ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に○をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に沿ってご回答ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、下記の投函期限までにご投函ください。

投函期限：6月19日（金）まで

◎本調査へのご質問またはご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

光市 政策企画部 企画調整課 企画係 担当：西村
住 所 光市中央六丁目1番1号
電 話 0833-72-1400（内線212）
FAX 0833-72-1436
メール kikaku@city.hikari.lg.jp

あなたご自身についてうかがいます。

問1 あなたの性別は？（1つに○）

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は？（1つに○）

1. 18～19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳
4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳
7. 45～49歳

問3 あなたのご職業は？（1つに○）

1. 会社員・公務員など 2. 自営業 3. パート・アルバイト
4. 専業主婦（夫） 5. 学生 6. 無職
7. その他（ ）

問4 お住まいの市区町村は？（名称をご記入の上、該当の区分に○）

（ ）都・道・府・県 （ ）市・区・町・村

現在お住まいの場所についてうかがいます。

問5 現在お住まいの場所は、住みやすいと感じられますか？（1つに○）

1. とても住みやすい ⇒ 問5-1 ^ 2. まあまあ住みやすい ⇒ 問5-1 ^ 3. どちらともいえない ⇒ 問6 ^
4. やや住みにくい ⇒ 問6 ^ 5. とても住みにくい ⇒ 問6 ^ 6. わからない ⇒ 問6 ^

【問5 で「1. とても住みやすい」と「2. まあまあ住みやすい」を選択した方
うかがいます。】

問5-1 現在お住まいの場所が住みやすいと感じられる点はこういったところ
ですか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 公園や自然環境 | 2. 道路・交通機関 |
| 3. 職場までの距離、働く場所の数 | 4. 防犯・防災体制 |
| 5. 幼児期の教育や保育 | 6. 学校教育 |
| 7. 近所のつきあい、地域活動の活発さ | 8. 医療・福祉のサービス |
| 9. まちのにぎわい | 10. 買物の便利さ |
| 11. 上記以外の理由 | 12. わからない・特になし |

問6 あなたが、現在お住まいの場所を決定された際に、重視した点は何
ですか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が豊か | 2. 交通の便がよい |
| 3. 仕事がある | 4. 安全・安心な場所 |
| 5. 幼児期の教育や保育の充実度 | 6. 学校教育の充実度 |
| 7. 家賃 | 8. 医療・福祉のサービスの充実度 |
| 9. 移住者への助成制度 | 10. 買い物の便利さ |
| 11. まちの知名度 | 12. 近所のつきあい、地域活動の活発さ |
| 13. 生まれ育った土地 | 14. 上記以外の理由 |
| 15. わからない・特になし | |

問7 あなたが、転出される際に、参考にされた行政サービスは何ですか？
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 移住者に対する助成 | 2. 子育て世代への助成 |
| 3. 二世帯住宅、三世帯同居などへの助成 | 4. 移住者向けパンフレット |
| 5. 移住に関する相談窓口 | 6. 定住促進専用のホームページ |
| 7. 空き家バンク | 8. 住宅開発 |
| 9. 大規模商業施設の誘致 | 10. 幼児期の教育や保育の充実 |
| 11. 学校教育の充実 | 12. 医療費の助成 |
| 13. 医療機関の誘致・立地 | 14. 地域コミュニティの充実 |
| 15. 市民団体活動、地域活動の支援 | 16. その他() |
| 17. 特になし | |

光市についてうかがいます。

問8 転出されることとなった最も大きな理由は何ですか？(1つに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 進学・就業・転勤のため | 2. 結婚のため |
| 3. 妊娠・出産のため | 4. 子どもの学校のため |
| 5. 親の介護のため | 6. 市のサービスに不満があるため |
| 7. 生活環境がよくないため | 8. 上記以外の理由 |
| 9. 特になし | |

問9 あなたは、光市に何年お住まいでしたか？(1つに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 |
| 3. 5～10年未満 | 4. 10年以上 |

問 10 あなたは、光市内でもお住まいを探されましたか？（1つに〇）

1. 探したうえで、他市町村に決めた
2. 最初から他市町村に住もうと決めていたので、探さなかった
3. 転出先の自治体に住むしかなかった
（勤務先が遠方に変った、結婚で遠方に住むことになった 等）
4. その他（ ）

問 11 光市は全体的に住みやすいと感じられましたか？（1つに〇）

- | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. とても住みやすい
⇒ 問 11-1 ^ | 2. まあまあ住みやすい
⇒ 問 11-1 ^ | 3. どちらともいえない
⇒ 問 12 ^ |
| 4. やや住みにくい
⇒ 問 11-2 ^ | 5. とても住みにくい
⇒ 問 11-2 ^ | 6. わからない
⇒ 問 12 ^ |

【 **問 11** で「1. とても住みやすい」と「2. まあまあ住みやすい」を選択した方
うかがいます。】

問 11-1 光市が住みやすいと感じられた点はどういったところですか？
（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 公園や自然環境 | 2. 道路・交通機関 |
| 3. 職場までの距離、働く場所の数 | 4. 防犯・防災体制 |
| 5. 幼児期の教育や保育 | 6. 学校教育 |
| 7. 近所のつきあい、地域活動 | 8. 医療・福祉のサービス |
| 9. まちのにぎわい | 10. 買物の便利さ |
| 11. 上記以外の理由 | 12. わからない・特になし |

⇒回答後は **問 12** へお進みください。

【問11 で「4. やや住みにくい」と「5. とても住みにくい」を選択した方に
うかがいます。】

問11-2 光市が住みにくいと感じられた点はどういったところですか？
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 公園や自然環境 | 2. 道路・交通機関 |
| 3. 職場までの距離、働く場所の数 | 4. 防犯・防災体制 |
| 5. 幼児期の教育や保育 | 6. 学校教育 |
| 7. 近所のつきあい、地域活動 | 8. 医療・福祉のサービス |
| 9. まちが寂しい | 10. 買物の不便さ |
| 11. 上記以外の理由 | 12. わからない・特になし |

問12 もし機会があれば、また光市に住みたいと思われませんか？(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 住みたい | 2. 住みたくない | 3. わからない |
| ⇒ 問12-1 ^ | ⇒ 問12-1 ^ | ⇒ 問13 ^ |

【問12 で「1. 住みたい」と「2. 住みたくない」を選択した方にうかがいます。】

問12-1 問12 の回答を選ばれた理由を教えてください。
(ご自由に記入してください)

問 13 今後、光市が活性化し、(将来的な)人口減少に歯止めをかけるためには、市としてどのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか？あなたが普段感じておられたことを教えてください。(ご自由に記入してください)

ご協力ありがとうございました。

ご記入済のアンケートは同封の返信用封筒に入れて**6月19日(金)まで**にご投函ください。